

とらやまの森

2015 春号
No. 71

<http://kyushu.env.go.jp/twcc/>

ほんものみたいでしょ!? ヤマネコ型看板!

本物のヤマネコと同じサイズのヤマネコ型看板。
目の部分などに反射板をつけているので
夜、車のライトを当てるとヤマネコそっくり!!
島内各所に設置中、あなたは何個見つけたかな?
お昼と夜間ではこんなに違うよ!



ツシマヤマネコ応援団とは?

ヤマネコをはじめとする対馬の野生動物を守り
次世代に引き継ぐことを目的とした
ボランティア団体です。
「自分に出来ることを無理なく楽しくコツコツと」を
合言葉にさまざまな活動を行っています。



ヤマネコセンターでも!
交通安全キャンペーン☆
毎年警察署の皆さんと
交通安全を呼びかけています。
皆さん、ご協力よろしくお祈りします!



カルバートのお掃除!

カルバートは道路下にある排水用の水路のこと!
実は野生動物も道として
利用していることが分かっています。
カルバートが利用できれば
危ない道路を設けずに済みますね☆
清掃中 *清掃後*



プレートを掲げての
交通安全キャンペーン
人にもヤマネコにも
優しい運転をお願いします!

少しでも交通事故を減らすために...
交通事故対策実施中!



交通事故対策、続々!

今年度、ヤマネコの交通事故件数は既に10件(一〇一六年二月一七日現在)に上ります。これは平成二四年度(一五件)に次ぐ発生件数であり、環境省・長崎県・対馬市は昨年一月に「ツシマヤマネコ交通事故多発警報」を発令しました。少しでも交通事故件数を減らそうと、協力してさまざまな対策を行っています。

ツシマヤマネコ応援団では昨年一〇月二四日上対馬町三手田のカルバート清掃を実施しました。また、一〇月三〇日上瀬町の御数公園、十一月一六日に美津島町の万間橋付近にて、「ヤマネコ注意」のプレート掲げてドライバーに注意を呼びかける交通安全キャンペーンを実施しました。十一月二八日・二九日には、島内の小中学生と協力して作成したヤマネコ型看板を新たに一〇箇所設置しました。昨年設置したものとあわせて、ヤマネコ型看板は三箇所になりました。

その他、昨年二月一五日から一九日にかけて、対馬北・南警察署と交通安全協会の協力のもと行われた、交通安全キャンペーンに、ヤマネコセンターも参加させていただきました。ドライバーの皆さんに直接声をかけ、人にも動物にも優しい運転を呼びかけました。

また、長崎県や対馬市では、ヤマネコの交通事故のリスクを低くするために、道路の構造改善に取り組んでいます。島内の道路における交通事故対策実施箇所は年々増えています。

たくさんの方々のご協力で実現した対策の効果により、交通事故件数が少しでも減っていくことを願いつつ、ヤマネコセンターでも引き続き努力していきたいと思えます。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分(入館は16時まで)までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。ゴールデンウィークは4月29日(金)～5月8日(日)まで開館しており、5月9日(月)・10日(火)は休館日となります。

対馬の環 News



やまねの祭りミニサイエンスカフェ

一一月五日「やまね」と科学について知ってもらおうイベントの第二弾として、「やまね」祭りのミニサイエンスカフェを対馬市と佐世保工業高等学校と共催で、厳原町の対馬市交流センターにて開催しました。

八月に豊玉町のパールドームで行った科学イベントと同様に、ヤマネコと科学の繋がりについて知ってもらおうためのロボット操縦体験や、ヤマネコ調査体験などのブース出展の他、「対馬を科学で元気にする」ためにはどうしたらよいかなどを題材とした講演会も行いました。講演会には、様々な科学イベントを企画・運営されているNPO法人「earth-col science」の大草芳江さんや、西表島での研修を終えた対馬高校の生徒さんにもご講演頂きました。講演後に行われたパネルディスカッションでは、講演者と参加者の間で科学と対馬についてとても内容の濃い話し合いが行われました。

ヤマネコの保全活動には科学がとても重要なことを知って頂くと同時に、科学を学んだ子供達が対馬にも貢献できるということを知って頂く良い機会になったのではないかと思います。



マイクロチップ体験☆



講演会

内山盆地収穫祭 軽トラ市

一一月一五日内山分校のグラウンドで、「内山盆地収穫祭 軽トラ市」が開催されました。二〇二一年以降開催されていなかった「内山盆地祭り」を復活させたいということで、ヤマネコと共生する地域を目指し活動をしている「内山盆地の里やまねこ会」の主催で行われました。当日はヤマネコブースも軽トララックで出展し、野菜等の販売だけではなく、対馬の乗馬体験や炭焼づくり体験も行われ、訪れたみなさんに楽しんでいただけたようでした。

対馬じかん2016

一月二日〜二四日までの三日間、対馬市とシダックス株式会社が「ラボレーションしたイベント」『対馬じかん2016』が東京、渋谷で開催されました。対馬の特産品を使用したレストランや、物産品の販売、講演会、ブースの出展など目白押しイベントとなりました。

ヤマネコセンターからはヤマネコのブース出展や、対馬市農林しいたけ課と共催でシカ・イノシシの革で作るヤマネコキーカバー作りのレザークラフト講座を行いました。沢山の方に、対馬や「ツシマヤマネコ」について知って頂くとても良い機会となりました。



キーカバー作り



販売中

退職のご挨拶

みなさん、こんにちは。

ツシマヤマネコの交通事故対策担当をしておりました竹澤です。

対馬では3年弱、センターで勤務をさせていただきました。

地域の皆さんと一緒に保護にたずさわらせていただき、地域の力、

地元の協力の大切さを改めて強く感じさせられた2年9ヶ月でした。

そして対馬の方々に支えられ、助けていただいた2年9ヶ月でした。

約3年間、至らない点ばかりでしたが、ツシマヤマネコという希少な生き物の保護と、対馬という素敵な島に開かれたことを本当に感謝しています。

対馬を離れ、地元愛知県に戻りますが、今度は私自身が地元愛知で

地域の支えになれるようになりたいと思います。

ありがとうございました



対馬野生動物保護センター
アクティブボランティア
竹澤 結希

センター用語

内山盆地の里やまねこ会……『ツシマヤマネコ脱炭』の開発・販売を中心として、人と自然が共生する「里の暮らし」を豊かにする活動を行っている団体。

やまねこ News

ヤマネコの死体收容及び保護收容がありました

昨年二月一日に上野町佐藤にてメスの成獣を、二月十七日に美津島町濃部にてオスの亜成獣を、さらに、今年の一月二日に峰町三根にてメスの亜成獣の死体を收容しました。どの個体も道路上で発見されたことから交通事故による死と考えられます。今年度の交通事故による死については一〇件となつてしまいが、二〇一六年二月十七日現在、ヤマネコセンターでも様々な交通事故対策を行っています(詳しくは「ページ」を参照下さい)。

また、二月二六日には上野町豊にてヤマネコセンターの職員が調査中につきまわっているヤマネコを発見し、住民の方にも協力して頂き、保護することができました。保護されたのはメスの成獣で、過去に子どもを産んだことのある個体と判明しました。保護收容時は、脛と骨がはつきり出ていることがわかる程、ガリガリに瘦せた状態であり、左前肢は外傷で動かない状態でした。現在は、懸命な治療により、左前肢の傷は治りましたが、依然として動かない状態です。今後治療を続け、回復の状態をみて野生復帰可能か検討します。



元気になってね

ヤマネコ調査機器の開発

ヤマネコセンターでは、二〇一四年度より佐世保工業高等専門学校と協同でヤマネコの調査機器開発に取り組んでいます。

一つは、箱型の自動撮影装置(通称 ボックスカメラ)にマイクロチップ読み取り機と体重計の機能を加えた「新型ボックスカメラ」です。一度保護されたヤマネコの首の後ろには、マイクロチップ(カプセル状の電子標識)が埋め込まれていることから、ボックスにきたヤマネコの画像とチップ番号、体重を記録できる機材の開発を目指しています。

もう一つは、現在ヤマネコセンターが行っている保護個体の追跡調査にドローン(小型無人航空機)を活用する技術の開発です。これまで、追跡中のヤマネコが山奥に入ってしまうと発信機の電波を拾えなくなっていました。ドローンに受信機を搭載することで、複雑な地形でも広範囲から電波を拾うことができるようになります。

今後、科学の力によってより詳細なヤマネコの調査ができるようになることを期待しています。



ドローン



新型BOXカメラ試験中

下島だより⑩ ～冬芽と葉痕～

皆さんは樹木の「冬芽」と「葉痕」を観察されたことがありますか。「冬芽」は枝の先などにつける小さな芽です。夏から秋にかけて形成される越冬のための小さい芽で、春になると葉や花になります。樹木の種類によって生えている場所や形に違いがあり、とても面白いです。

「葉痕」とは葉が枝から落ちてできた痕跡のことです。栄養や水分の通り道がこのような跡になって残ります。この葉痕を動物や人の顔に見えるという人もいますので、想像してみるのも面白いかもしれません。

冬の時期は、とても観察しやすいので、目を凝らして見てみてはいかがでしょうか。



野主朝比スレーション
ツマアカスズメバチ
別冊担当
藤井 真行



冬芽



葉痕

第19回ヤマネコ・クイズ!

ヤマネコセンターで、一般公開されているヤマネコ「福馬」は、4月がお誕生日!

さて「福馬」は、2016年に何歳になるでしょうか?

答えは4ページをみてね! =>



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典を明記して下さい。

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介するコーナー！

今月の動物園 **富山市ファミリーパーク**

富山市郊外の里山の自然豊かな丘陵の中にある動物園でタヌキやキツネ、カモシカ、オオワシなどの日本産の動物を主に飼育展示しています。日本鶏や日本在来馬の展示やふれあいを通して、命の大切さや人との関わりを伝える一方で、種の保存の取り組みとして、ツシマヤマネコ以外にも環境省のライチョウ保護増殖事業に取り組んでいます。また、地域の人たちと協力して園内に生息する絶滅危惧種のホクリクサンショウウオの保全にも取り組んでいます。

みんな遊びにきてね♪
待ってるよ！



お問い合わせ先

富山市ファミリーパーク
〒930-8151 富山県富山市古沢254番地 TEL:076-434-1234
<http://www.toyama-familypark.jp/>

写真提供(富山市ファミリーパーク)

今回は学童保育「ひまわり」に通っている皆さんにインタビュー！

No.08 対馬のあの人の人

学童保育「ひまわり」とは？

放課後や長期休暇中の子どもたちに学習・遊び・スポーツの場を提供している施設です。子どもたちに様々な経験を提供するため、施設内にとどまらず、地域の方と交流したり、子どもたちが楽しみながら学べるような活動を行っています。その一つとして、ヤマネコセンターを活用しており「ヤマネコ交通事故多発警報」を受けて作成された交通事故対策番組に出演したり、ヤマネコの生態などを知ることができるヤマネコ教室を利用しています。

☆子どもたちに質問してみました！

番組に出演してみてどうでしたか？

- 初めてだったので緊張しました。
- ほとんどの友達が放送を見てくれて私たちの出演にビックリしていました！

ヤマネコ教室で楽しかったことは？

- ヤマネコの生態や特徴についてのクイズ
- ヤマネコ型看板作り
- O×クイズ

今後、どのようなヤマネコの保護活動を行っていきたいですか？

- これからもヤマネコを守るために「ひまわり」の皆でヤマネコの看板作りなどをしていきたいです！！



がくどうはいく
学童保育「ひまわり」の皆さん

学童保育「ひまわり」の皆さん、ありがとうございました！

社会福祉法人 慶長会 学童保育「ひまわり」
対馬市上対馬町比田勝 836 TEL:(0920)-86-3177

編集後記

先日の大寒波の時、ヤマネコ飼育施設内のあちこちが凍結していました！皆さんの家は大丈夫でしたか？



景色が雪で真っ白！

今日の一枚
ある朝、窓の外を見てみると、雪が降っていて驚きました。
その日は風もとても強く、雪を立って吹くよりも寒さを感じました。室内でもとても寒く、吐く息も白かったです。山も雪で白くなり、普段とは違って見えませんでした。後でニュースを聞いたら四〇年に一度の寒波だったとが、暖かい春が待ち遠しいです。

※リサイクル紙の活用：紙へリサイクル可 この印刷物は、グリーン購入法に基づき基本方針における「印刷」に係る印刷の事業に使い、印刷物の紙へのリサイクルに適した材料(Aランク)のみを使用しています。

第19回ヤマネコ・クイズの答え！

ヤマネコセンターで一般公開されているヤマネコの「福馬」は2004年4月3日がお誕生日なので、4月で12歳になります！

とらやまの森



<http://kyushu.env.go.jp/twcc/>

センターのアイドル福馬くんのファンです。これからもよろしくね(^_^)

元気に長生きしてね(^_^)

これからも元気でみんなのことセンターで迎えてね！おめでとう！

めざせ！
飼育下最長齢
ヤマネコ☆

いつまでも元気でたくましい福馬くんいてください。

おめでとう
ございます。
鶏肉と馬肉とマウスに満ちた幸せ日々でありますように。

생일 축하해!
잘부탁해,
※誕生日おめでとう！これからもよろしく。

お誕生日
おめでとう！
これからも福馬らしいシャッターチャンスをお願いします☆

おめでとう！
ツシマヤマネコの代表として、これからも健康に気をつけて活躍して下さいね！

これからもセンターの“顔役”として活躍してね。

12歳の誕生日おめでとう。来年もみんなで祝いましょう。いつまでも元気でね。

う～んと長生きして「元気な福馬で」頑張り、来館者を楽しませてね。



★2016年4月3日★

福馬くん、12歳のお誕生日おめでとう！！

講員一同

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分（入館は16時まで）までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

対馬の環 News



ツシマヤマネコ応援団、 交通安全キャンペーン実施

三月一日、上対馬町舟志の県道脇にてツシマヤマネコ応援団主催の交通安全キャンペーンを行いました。舟志では、二月十八日にヤマネコの交通事故(成獣オス死亡)が発生し、事故後も頻りにヤマネコが周辺道路に出ているのが確認できたことから、注意喚起のために急ぎよ実施しました。平日夕方の開催でしたが、応援団から三名が参加していただきました。

舟志は湿地や畑などヤマネコの餌場が豊富で、複数のヤマネコが付近を利用していていることが調査で分かっています。カルバートの「ネコ走り」や道路下の動物用通路の設置などの交通事故対策がとられていますが、ヤマネコが道路に飛び出すこともありますのでご注意ください！

みんなで気をつけようね



ステーションに イエネコが来た！

二〇一六年三月一日、厳原町

にあるツシマヤマネコ野生順化ステーションにヤマネコの近似種としてイエネコが二頭、那須どうぶつ王国からやって来ました。

将来、ヤマネコが野生順化訓練を行う野生順化ゲージは、その中に多様な生息環境を再現するために従来のヤマネコ飼育施設では考えられないほど、広大で開放的なゲージになっています。このため、ここでヤマネコの飼育を開始する前に、このイエネコたちを飼育して、ゲージからネコが脱走・怪我をしないか、健康管理や行動観察が出来るか、スタッフの体制や動きが適切かどうか、検証する必要があります。

野生順化ステーションに来た当初、このイエネコたちは半屋外の環境で飼育していましたが、現在では屋外にある野生順化ゲージに移行し、施設などの検証を進めています。この検証作業は来年三月頃を目途に完了させる予定となっております。



和歌山アンブル
メス 3歳
前種別年齢
(2012年10月生まれ)



茶種スズメ
オス 2歳
前種別年齢
(2013年6月生まれ)

☆ 新 職 員 の あ い さ つ ☆

よろしくお願いします！

4月に私を含め4名の職員がヤマネコセンターに新しく配属されました。(内、私を除く3名がフレッシュな新社会人です！) ヤマネコに関係するあらゆる立場の方との意見交換が私達の成長につながると思います。見かけたら、ぜひご意見をお聞かせください。ご指導よろしくお願いいたします。



アクティブレングジャー
笑 眞 千帆
2014 27



首席自然保護官
佐藤 大樹
2015 34

獣医師の箕浦です。動物が大好きで、対馬でヤマネコを助けたくて、大阪からやってきました。ヤマネコたちや彼らが暮らす対馬の大自然を、皆さんと力を合わせて守っていきたいと思っています。宜しくお願いします！



事務補佐員
沼倉 真帆
2014 20

4月から交通事故対策担当として勤務しています福成です。まだまだ分からないことばかりですが、対馬について、ヤマネコについてもっと勉強し、地域に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



アクティブレングジャー
福成 由佳
2014 40

4月から普及啓発担当になりました沼倉真帆と申します。動物が好きで動物系の専門学校へ通い、様々な年代の方に動物や自然のことをもっと興味をもってほしいと考えこの仕事に就きました。今後ともよろしくお願いいたします。

センター用語

アクティブレングジャー……自然保護専門員。(ヤマネコセンターでは、ヤマネコの検査や治療を行う獣医師。)

アクティブレングジャー……国立公園などの保護管理、自然解説などを担当する自然保護官補佐のこと。

(ヤマネコセンターでは、ヤマネコの交通事故対策、調査、普及啓発活動などを行っています。)

やまねこ News

ヤマネコの保護收容と、入院中個体の近況のマン報告

三月二日、上対馬町舟志にてネズミ鼠で錯認捕獲されてしまったオスの成獣を保護しました。保護收容直後は、人を怖がってか餌を食べない状態でしたが、入院室から人が退室するとすぐに食べ始めました。そして翌日、保護して下さった方が見守る中、元氣よく舟志の森に帰っていききました。



3/21舟志にて保護收容直後の様子

二〇一五年二月二十六日に上対馬町豊で保護され、現在入院中のメスの成獣は、保護收容時とはとても痩せていて、左前肢は外傷により動かえない状態でした。現在では食欲もあり、体重は保護收容時の一・五倍以上にまで増えました。左前肢も問題なく動かせるまでに回復し、健康な個体と同じように歩けるようになり、自分でマウスを仕留めることも出来るようになりました。しかし現在、眼の病気を発症し、その治療を行っているため、野生復帰の判断は少し先送りになりそうです。



12/26豊にて保護 足はもう痛くないよ！

ヤマネコ交通事故関連

二〇一五年度のヤマネコの交通事故件数は、一二件でした。これは、二〇一二年度（一五件）に次いで二番目に多い発生件数です。今年度は、昨年一月月に発生した「ツシマヤマネコ交通事故多発警報」を継続し、少しでも交通事故件数を減らすべく、交通事故対策にさらに力を入れて取り組んでいきます。

四月六日と八日に警察署と交通安全協会の協力のもとに行われた交通事故防止キャンペーンに、ヤマネコセンターも参加させていただきました。つばさちゃんと一緒に、ドライバーの皆さんにも「人にもヤマネコにも優しい運転」を呼びかけました。

ヤマネコの交通事故は、秋から冬にかけて多い傾向にあります。二〇一五年度は、五月に二件、六月に一件発生しており、一年を通して注意が必要です。夕方々朝方は特に安全運転にご協力をお願いします。

また、交通事故に遭ったヤマネコを見かけた際には、対馬野生生物保護センター（TEL:0920-84-5577）までご連絡をお願いします。



安全運転をお願いします！



安全運転ありがとうございます！

退職★異動のあいさつ

お世話になりました！

4月から仙台市にある東北地方環境事務所で働いています。人と人のつながりの重要性を実感した4年間でした。一人ではできなくても、多くの人と協力することでできることがたくさんあります。また、新しい人とのつながりは、新しい可能性をもたらしてくれます。スタッフの皆様、多くの人と協力してツシマヤマネコのためにがんばってください。

首席自然保護官 西野 雄一



昨年5月から今年の3月までツマアカスズメバチの防除を担当させて頂きました。対馬では大変なことが多かったですが、山や海が近く動植物と触れ合うことも多く楽しく過ごすることができました。外来生物の防除を通していろいろと学ぶことが多く、次の職場でも対馬で経験したことを活かして、頑張りたいと思います。ありがとうございました。

ツマアカスズメバチ対策担当 藤井 亮介



長い間、ヤマネコの飼育や調査にかかわらせていただきました川口です。苦勞することも多々ありましたが、非常に濃い時間を過ごさせていただきました。これからは、一市民として自分にできることをコツコツと行っていく所存です。17年間、本当にお世話になりました。

飼育員 川口 誠



3年間という短い時間でしたが、皆さんに支えられとても充実した毎日を送ることができました。現在は東京都で環境教育を行っています！対馬とは全く異なる環境ですが、3年学んだことを活かしてまた一から頑張っていきます。対馬で沢山の方と出会ったひとつの場が増えたことを嬉しく思います。ありがとうございました。

事務補佐員 吉岡 清香



第20回ヤマネコ・クイズ！

2015年に【ツシマヤマネコの日】が制定されました！さて、何月何日でしょうか？

答えは4ページをみてね！⇒

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介するコーナー！

今月の動物園 **井の頭自然文化園**



はな子

お問い合わせ先

皆で遊びに来てね☆

東京都の武蔵野市に位置する井の頭自然文化園は、アジアゾウの「はな子」を筆頭に、200種を超える動物を飼育しています。その多くが、日本産動物です。長崎の平和祈念像の作者、北村西望の彫刻館もあり、自然と文化が感じられる動物園です。ツシマヤマネコの飼育は2006年から。現在はツシマヤマネコのことを知ってもらうため、メスの『ノリ』がアムールヤマネコと並んで展示されています。ツシマヤマネコの繁殖の取組みも進めています。東京にお越しの際は、吉祥寺のお洒落な町並みと自然を感じる井の頭自然文化園へ…動物たちも皆様をお待ちしております！



オシドリ

井の頭自然文化園

〒188-0005 東京都武蔵野市御殿山1-17-6 TEL:0422-46-1100

写真提供(井の頭自然文化園)



今回は(一社)daidai 谷川さんにインタビュー！

No.09 対馬のあの人この人

daidaiという名前の由来は？

対馬の代々伝わる伝統や素材などを代々引き継げる仕事をしたいということ、一緒に会社を設立したkiiroさんの黄色とももこの桃色を混ぜると橙色になるということ、そしてハンターさんの服の色が橙色であること。これらのいろいろな意味を込めてdaidaiと決めました！



獣害から獣財へ☆

一般社団法人daidai
代表理事/里山獣医師
たにがわ
谷川ももこさん

今後の目標は？

現在、イノシシ・シカの肉や革を使って製品を作っています。今後も「楽しいことをしていたら気付いたら被害が減っていた！」というようなイノシシ・シカで地域の人々が楽しく笑顔でhappyになれる、イノシシ・シカの被害対策に繋がる仕事をしていきたいです。

●一般社団法人 daidaiとは？

有害鳥獣ビジネスコーディネーターとして活動していた鳥おこし協働隊を昨年度卒業した谷川さんと対馬ひのきを使った家具や雑貨などを作製しているkiiroさんと今年設立された会社です。「獣害から獣財へ！」を合言葉に獣害対策の楽しさを伝染させることを目標にかけ活動しています。

対馬に関わるようになったきっかけは？

学生の頃野生動物に関わる仕事がしたいと思い、インターンシップで各地を訪れていました。その際に対馬野生生物保護センターの学生実習のため対馬へきました。そこで、対馬の魅力にひかれイノシシ・シカの問題を知ったのがきっかけです。

(一社)daidaiの谷川さん。ありがとうございます！

一般社団法人 daidai

住所：敷原町今屋敷 731

TEL：090-6848-2291

E-mail: info@daidai.or.jp

シカの革で作ったキーカバー★



編集後記

福馬くんはついに12歳になりました。元気で元気な状態で帰国してきて嬉しい限りです。これからも健康で長生きしてね☆



今日の一枚『国境マラソン』
人生は一期一会。新しい別れがあつても、新しい出会いが心を癒す今日の一枚。
ゴールデンワイクが終わり、も自慢と闘いながら、梅雨を経た後に到来するは『国境マラソン』
沿道からの声援を力に、抜きつ、抜かれつ。それはまさに一期一会。さあ、対馬の風になれ！主役は貴方だ！

※リサイクル商品の表示：紙ヘリサイクル可 この印刷物は、グリーン購入法に基づき基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷所の紙へのリサイクルに適した材料(A30シタ)のみを用いています。

第20回ヤマネコ・クイズの答え！

ツシマヤマネコの別名である「とらやま」にちなんで、10月8日をツシマヤマネコの日と制定しました！

とらやまの森

2016 秋号
No. 73

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

6月8日 峰町三根



交通事故防止
看板設置の様子



8月15日
上対馬町河内

残念ながら
今年度生まれの
子ネコでした...



6月17日 豊玉町仁位



山の中だけ
ではない!?
市街地内での
ツシマヤマネコ
交通事故!

峰町
三根

上対馬町
河内

豊玉町
仁位

事故現場MAP

! ヤマネコ ! 交通事故多発中

また、六月十七日には豊玉町仁位で、八月一五日には上対馬町河内でもヤマネコが轢かれてしまいました。仁位の事故は豊玉高校グラウンド前の県道上で発生し、このような街灯も明るい街中にヤマネコが出てきたことは、非常に驚きでした。河内の事故では今年度生まれの子ネコが死亡しました。栄養状態も良く、母親に大切に育てられていたようですが、うっかりひとりで道路に出てしまったようです。

子ネコも独り立ちに向けてお母さんから少し離れて歩き回るようになり、まさがこんな所にはいないだろうという場所でも、山が近ければヤマネコはやってきます。日没から早朝にかけて、皆さんの優しいまはんの少し「道路脇」を意識して運転して頂ければと思います。

「お母さんヤマネコ、街中のヤマネコの交通事故」

二〇一六年六月八日、峰町三根の市道にてメスのヤマネコの交通事故死体収容がありました。乳頭の状態などから子育て中のお母さんだったことがわかり、子ネコを助けるための集中捜索を行いました。また、子ネコの目撃情報収集のため、周辺集落の方々へチラシ配付を行ったほか、一部の集落には防災無線での放送もして頂きました。ご協力下さった皆さま、本当にありがとうございます。今回、残念ながら子ネコの情報を得ることはできませんでしたが、周辺にお住まいの方々にヤマネコの存在を改めて知って頂けたのではないかと思います。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分（入館は16時まで）までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

対馬の環 News



あじさい祭り

六月一九日、上県町佐藤で行われたあじさい祭りではブース出展させて頂きました。子どもから大人まで大勢の方にやまねこ探検隊「ヤマネコ」や対馬のことをテーマとしたクイズラリーに参加してもらい、世界にひとつのオリジナルエコーバックを作ってもらいました！

また、ヤマネコセンターでは普段見ることの出来ないバックヤード見学ツアーを行いました。つばきちゃんもあじさいウォーキングや餅まきに参加できて、楽しかったようです。

きみも昆虫博士だ！ 昆虫標本作成講座

七月二十四日、小・中学校が夏休みに入ってから初の日曜日、昆虫標本作成するイベントをツシマヤマネコ野生順化ステーションで開催しました。昆虫好きの参加者のみなさんは、ヤマネコと昆虫の繋がりを学んだ後、細かくて難しい昆虫標本を作る作業に、黙々と真剣に取り組んでいました。昆虫標本は昆虫たちの命をもらい作ります。そのため、命について考える良い機会になったのではないかと思います。



難しいけど楽しいわ



～餅投げ～

ヤマネコ教室★職場体験

ヤマネコセンターでは、ヤマネコを始めとする対馬の自然について知ってもらおう活動として「ヤマネコ教室」を実施しています。今年度も島内の小中学校、学級レクリエーション、学童、島外から対馬に来られる方々から依頼を頂いています。

今年度はヤマネコ教室の一環として職場体験の依頼があり、七月二十七日から三日間「佐須奈中学校一名」、七月二十八日には「佐須奈中学校一名、上対馬高校二名」、八月二日から三日間「東部中学校一名」の生徒を受け入れ、飼育・調査・ビシター対応など、色々なことを体験してもらい、どの時間も真剣に取り組んでくれていました。是非、今回学んだこと、感じたことを今後に活かし、知識として得たものを周りの人にも伝えていって欲しいと思います。今後みなさんの希望に合わせたヤマネコ教室をご利用頂ければと思います。ヤマネコ教室のご質問やご相談はお気軽にヤマネコセンターまでお問い合わせ下さい。



も皮を触って比べよう



～換気扇掃除～

普及啓発担当【小宮・さおり】

職員日誌② ～田んぼでイキイキ★～

こんにちは！普及啓発担当の小宮です。ヤマネコの狩場でもある田んぼで、今年度は佐須奈小学校との【田んぼの楽校】、田ノ浜地区での【田んぼで遊ぼう！】、比田勝小学校の【田んぼの生きもの調査】を行いました。最初は、子どもたちも泥の感触に戸惑っていましたが…いつの間にか泥んこになりながら遊んだり、田んぼの生きものに触れて、とてもイキイキとした良い表情になっています★カエルが苦手な私も田んぼに足を運ぶ機会が増えたおかげで、カエルに触れるようになりました（小さいカエルのみですが…(^^)）。

今後も楽しみながらヤマネコについてはもちろん対馬の自然について学んでいってもらえるようなプログラムも考えていきたいと思います！



対馬野生生物保護センター
事務補佐員
小宮 さおり



泥んこドッジボール



生き物調査

センター用語

バックヤード見学ツアー……ヤマネコを飼育している施設の裏側を見学できるツアー。毎年あじさい祭りの日に少数限定で開催しています。普段は飼育員しか入らない場所からヤマネコを見ることが出来るかも!!?

やまねこ News



F+73(ナナミ)の近況の報告

二〇一五年二月二十六日に保護され、四月末、右眼に「水晶体前方脱臼」という病気を発症した、治療中のメスの成獣についてです。この病気を完全に治す(視力を取り戻させる)ことはできませんが、点眼のみの治療を続けていても、いずれ悪化し緑内障を引き起こしかねないため、六月上旬に眼の手術を行いました。手術後、元気・食欲ともに回復し、右眼も良い状態を維持できています。

福馬の定期健診がありました

六月二七日に福馬の健康診断を行いました。一ヶ月以上前からキャリートレーニングをしてきた甲斐もあって、自分からすすんでキャリーに入ってきてくれ、キャリー越しにご飯をあげている間に捕獲成功。福馬が眠っている間に、血液検査・レントゲン検査・エコー検査・尿検査など全身検査を終えました。結果は…異常なし！というところで、職員一同ひと安心です。一二歳のおじいちゃんなので、これからも健康で長生きしてほしいですね。



異常なし！



手術の様子

目撃情報

今年度に入り、ヤマネコの目撃情報や自動撮影カメラでの撮影による生息情報が増えていきます。

上島では、特に国道三八二号線瀬田トンネル付近や上対馬町河内〜大浦間での目撃情報が多く、丹志や女連でも子ヤマネコが目撃されています。

下島では、三月から四月にかけて、城山(金田城跡)に設置されている自動撮影カメラで、連続してヤマネコが撮影されています。

城山のヤマネコ



秋〜冬は、親離れしたヤマネコたちが動き回り、道路上に出てきてしまうことが多くなります。これからの季節は全島で、安全運転をお願いします。特にヤマネコ看板の周辺では、ヤマネコの飛び出しに注意して下さい。また、目撃情報も収集しています。もしがしてヤマネコ?と思われる目撃がありましたら、対馬野生生物保護センター(0920-84-5577)に情報提供をお願いいたします。

※ヤマネコの交通事故情報は、対馬野生生物保護センターHPでご覧いただけます。

対馬野生生物保護センターHP

<http://kyushu.env.go.jp/twcc/>



check!

下島だより⑩ ~初めまして、桐谷です。~



保護事務室勤務
飼育員
桐谷元基

初めまして。今年の6月から、野生順化ステーションで飼育員として勤務している桐谷元基(きりたにげんき)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。さて今回は、私の好きな豆敷崎を紹介いたします。夏、豆敷崎のとっぱな(一番先端)には、白いハマオモトの花!鳥肌が立つ断崖絶壁の海岸!叫びたくなるような青い海!が広がっています。そして、海を二つに割るように突き出たせどは、潮の流れが早く海難事故も起こりやすい一方、たくさんの海の生物がいる場所です。また、ここには波切不動明王様がおられ、今日も豆敷の海を行き交う漁師さんの海上安全を見守っておられます。

皆さんも是非、心に残る景色に会いに豆敷崎を訪れてみてはいかがでしょうか。



ハマオモト



波切不動明王

第21回ヤマネコ・クイズ!

ヤマネコとイエネコを確実に見分ける1番のポイントは何?

答えはウラをみてね!⇒

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介するコーナー！

今月の動物園 盛岡市動物公園

園内には林や草地、水辺などの多様な自然環境があり、動物たちとのふれあいの他に自然観察等、自然を題材にした催し物をたくさん行っています。日本生態園のコーナーでは、ツキノワグマやニホンザル、ニホンカモシカなどの他、ヤマネやモモンガ、ノネズミ等を見ることが出来ます。アフリカ園ではゾウやキリン、シロサイといった大型の人気動物がいます。ツシマヤマネコの飼育は2011年から、エサを食べるところを見ながら、飼育係が特徴や飼育のエピソードなどを解説するイベントを行っています。



ツキノワグマ

お問い合わせ先

盛岡市動物公園

〒820-8183

岩手県盛岡市新庄字下八木田60-13

TEL: 019-654-8266

休園日: 毎週水曜日

冬期休園 (11月30日～3月14日)



僕に会いに来てね♪
待ってるよ！

ツシマヤマネコ

写真提供 (盛岡市動物公園)

今回の対馬のあの人この人は…

No.10 大石農園 大石さん

どのような活動をされていますか？

対馬は山が多いので、山でもできて獣害に強く、無農薬で栽培可能な作物ということで、茶および柚子に着目、加工することで付加価値を高め、島の特産物開発と新産業創成を目指しています。茶60a、柚子150aの規模で、「対馬紅茶」「対馬ふうき」「佐護茶」「柚子コショウ」「柚子酢」等に加工し、島内中心に販売しています。



柚子、釜炒り茶
紅茶の製造・販売と
幅広い商品を
取り扱っています♪

オススメ商品の強みを教えてください！

輸入紅茶は渋く、砂糖やミルクなしでは飲めないものが多い中、そのままでも飲める和紅茶の人気が高まっています。対馬紅茶は美しい真紅色なこと、まろやかな味わいと飲んだ時に甘い花のような香りがするとよく言われます。

対馬の柚子はとくに香りがよくて、「柚子コショウ」「対馬賢沢生ば人酢」は人気商品です。

今後の目標は？

島内市場が縮小する中、農産物を活用した「六次産業化」商品として、本土の市場開拓をしたいと考えています。茶、柚子ともに、現時点では本農園単独の取り組みですが、島内での関心も高まってきているので、今後は同業者を募り産地規模を拡大したいと思います。また、島内に自生する「ヤマチャ(対馬在来の茶)」や「スイボウ(対馬在来の香酸柑橘)」等、未利用資源の活用による新製品開発にも取り組みたいです。



大石農園

代表

おおいしこうぞ
大石孝儀さん

大石農園の大石さん、ありがとうございました！

大石農園 (柚子・釜炒り茶・紅茶の製造・販売)

住所: 上県町佐護東里 1384

TEL: 0920-84-5176

E-mail: ooshikougo@sea.tootv.ne.jp

編集後記

秋はヤマネコの交通事故も増える季節…。これ以上交通事故が起きないように私もより一層安全運転で過ごしたいと思います。



今日の一枚
『ツシマヤマネコ』の親子
盛岡、ツシマヤマネコたちは命を次代につなぐため、必死に母子をする季節。そんなヤマネコの親子の姿が見たくて、東の空がほのかに明るくなる頃に田んぼに向かう。夏の朝露に濡れた稲の香りが立ち、朝日を浴び始めた田んぼの中で「いたーっ」と二人で大騒ぎした一枚です。

第21回ヤマネコ・クイズの答え！

耳の後ろにある白い模様(虎耳状斑)がヤマネコとイエネコを確実に見分けるポイントです。

対馬の環 News



安全運転お願い致します！

九月中に島内六カ所で秋の交通事故防止キャンペーンを行いました。三日の比田勝駐在所前でのキャンペーンには、比田勝小学校の四年生も参加し、元気いっぱいチラシを配ってくれました。

しかし、十一月一日、大変残念なことに今年度五件目のヤマネコの事故が発生しました。場所は、豊玉町曾(市道仁位管線)で、事故に遭ったのは体格の良い成獣のオスでした。



11月10日の事故現場

秋から冬は、ヤマネコの視界の時期です。道路の怖さを知らない若いヤマネコたちが道路上に出てしまう可能性が高くなります。ヤマネコが飛び出してくるかも、と意識しながら運転をお願いします。

今年度で五回目となるツシマヤマネコ交通安全ポスター展では、一四七作品もの応募がありました。すべての応募作品は、以下の期間、会場で展示しておりますので、また実物を見ていない方は、ぜひ会場に足を運んで下さい。ポスターを作った方のメッセージを感じ取って下さいれば幸いです。

ツシマヤマネコ交通安全ポスター展 開催中!

- 平成28年12月3日(土)～12月26日(月)
とよまパルードーム ロビー
- 平成29年1月18日(火)～1月23日(月)
上対馬総合センター 1階ロビー

動物愛護週間イベント!

九月十七日、豊玉パルードームにてわんにゃんフェスティバルがあり、悪天候にもかかわらず、沢山の方がお越し下さいました。動物愛護絵画表彰式やふれあい動物園のほか、各ブースを回って動物愛護にまつわるクイズに答えるスタンプラリーもあり、みんな一生懸命クイズに答えて景品をゲットしていました。このイベントで学んだことを忘れずに、みんな協力して、人と動物の良い関係性が築かれる島にしていきたいですね。



表彰式の様子

オーナーイベントで稲刈り

一〇月九日に佐藤ヤマネコ稲作研究会のオーナーイベント「稲刈り」を行いました。今年度は悪天候のため田植え、ナイトセンサスが中止になってしまいましたが、稲刈りは天気にも恵まれ、島外からもオーナーさんが参加されました。稲刈りの最中にはカヤネズミの巣なども観察できました。田んぼに生き物が増え、ヤマネコが暮らしやすい環境が継続されるためにヤマネコセンターも協力をしたいと思っています。



よ～し！刈るぞ！！

職員日誌② ～台湾へ行ってきました～

今回はアクティブレンジャー藤浦より、学会参加報告です(^^) 10月22日(土)～24日(月)にかけて台湾で行われた「第9回アジア保全医学会 (ASIAN SOCIETY OF CONSERVATION MEDICINE)」に参加しました。アジア各地の野生動物の獣医師が集まる学会ですが、ツシマヤマネコの病理解剖(死体の死因を調べる)をお願いしている先生よりお声を掛けて頂き、対馬での保護の取り組みの紹介をしてきました。その他、台湾にいる「台湾ヤマネコ」の状況についても勉強してきました。台湾ヤマネコは、境遇がツシマヤマネコとよく似ていて、絶滅の危機にあることも同様です。台湾ヤマネコが棲む地域の見学や保全活動の情報交換ができたので、今後対馬のツシマヤマネコの保全活動にも活かしていきたいです!



台湾の様子



対馬野生動物保護センター
アクティブレンジャー
藤浦 志希音



学会での発表

センター用語

超音波検査…エコー検査とも呼ばれ、超音波をあてることでお腹を切らずに、中の状態を調べることができる検査

やまねこ News



あれ？福馬のおしっこの中に…!?

九月十五日、福馬のおしっこの中に血が混じってました。おしっこを顕微鏡で観察すると、写真のようなキラキラとした結晶が沢山見られました。放っておくと、この結晶は結石という大きな石になり、尿道に詰まっておしっこが出なくなってしまう

ということもあります。さらに、福馬のお腹を超音波検査してみると、まだ結石はできておらず一安心。でも、福馬にはしばらく、結晶を溶かしてなくすためのご飯を食べてもらうことに。おしっこの中からは、細菌も検出されたので、菌を殺すお薬も飲んでもらいました。その結果…10月17日の尿検査では、結晶も細菌も無くなっていました！九月から、検査のために何度もキャリーに入ってくれて、我慢できた福馬はすごい！日頃のハズバンダリートレーニングの成果を感じました。今は通常通り、馬肉やマウスなどのご飯を食べる福馬を来館者の皆さんにお見せできるようになっています。元氣になった福馬に会いにいらしてください。



トレーニングの成果



顕微鏡で覗いてみると…

特大号 下島だより③ ～現在、ステーションのイエネコは…?～



獣原事務室勤務
アプティグレンジャー
岩下 明生

こんにちは。野生順化ステーションの岩下です。ステーションに2頭のイエネコが来て、もうすぐ一年が経過しようとしています。ステーションの野生順化ケージは、ヤマネコの飼育ケージとしては他に類を見ないほど広大かつ開放的で、ケージ内にも多様な環境があります。そのため、ヤマネコを導入する前段階として、ネコがケージから脱走・怪我をしないか、健康管理や行動観察が適切に出来るかなどを検証するために、近似種であるイエネコがステーションに来ることになったのです。



今回はこのイエネコたちの野生順化ケージでの近況をお伝えします。ステーションには6つの野生順化ケージがあります。現在、イエネコたちはその中でも1番、2番、4番ケージを中心に放獣され、これらのケージの事前確認を行っています。各野生順化ケージは、0.26～0.69haの広さで、ケージ内には森林や草地、岩場、水辺などがあり、ヤマネコの多種多様な餌動物がケージの中で生活できるように整備してあります。野生順化ケージで生活するイエネコたちは、飼育員が与える餌の他に、自らがケージ内で獲物を探し、狩りをするのもわかってきました。これまでイエネコたちが狩りをした生き物は、ヤマネコの主食であるアカネズミは勿論、ホオジロ類、セキレイ類、コガモなどの野鳥、ツシマアカガエルなどの両生類、カワムツ（魚類）、カマキリやコオロギなどの昆虫と多岐に渡っており、ケージ内の餌動物の豊富さを表しています。



アマサギを狙う表茶



尻尾機をつけている和歌

今後、他の野生順化ケージにおいても同様の事前確認を行い、問題が無ければヤマネコの導入に向けて準備を進める予定です。



第22回ヤマネコ・クイズ!

ステーションで飼育しているイエネコの【表茶】がアマサギを狙っていました…。この後どうなったのでしょうか?

答えはウラをみてね! =>

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介するコーナー！

今月の動物園 よこはま動物園ズーラシア

よこはま動物園ズーラシアでは、気候帯別に九つのエリアに分け、動物達の生息環境を再現した手法で展示をしています。また、園路にはその地域の文化等を紹介する物も展示しており、園内を1周すれば、世界一周旅行をした気分を味わうことができます。もちろんツシマヤマネコは『日本の山』のエリアで暮らしています。そこでは昔から日本人とかわりがあるタヌキやキツネ、ツキノワグマも見ることができます。2015年4月には『アフリカのサバンナ』エリアが全面オープンし、肉食動物のチーターと、草食動物のキリン・シマウマ・エランドが同じ展示場で見ることができます。動物達の息遣いが間近で感じられる世界一周旅行と中華街、あなたならどっちを選びますか？

お問い合わせ先

よこはま動物園ズーラシア
〒241-0801
神奈川県横浜市旭区よ白根町1175-1
TEL: 045-959-1000
休園日: 火曜日 (祝日の場合はその翌平日)



アフリカのサバンナ



ツシマヤマネコ

写真提供 (よこはま動物園ズーラシア)

今回の対馬のあの人この人は…

対馬市ニホンミツバチ部会

No.11 扇さん

今回は対馬の特産物、蜂蜜の生産に取り組む対馬市ニホンミツバチ部会の扇会長にインタビュー！

1. 対馬の蜂蜜の魅力を教えてください！

対馬の蜂蜜は「百花蜜」と呼ばれ、その独特な風味と濃厚な甘みが最大の魅力です。多種多様な草木を育む対馬ならではの味です。外国産を含めて様々な蜂蜜を食べてきましたが、対馬の蜂蜜が世界一だと思っています。

2. 対馬の蜂蜜にはとても長い歴史があると…

対馬の養蜂は1500年以上の歴史があると言われています。江戸時代には将軍家や諸大名への贈り物として利用されたり、朝鮮使節の饗応(きょうおう)の膳(おもてなし料理)に使用されたりしました。

3. 一方で、近年は採取量が減っているようですね？

詳しい原因は不明ですが、最近では外来生物のツマアカスズメバチによる捕食も影響している可能性があると考えられています。

4. 今後の抱負を教えてください！

これからも対馬の豊かな自然を大切にしながら、たくさんの方の蜂蜜を採れるように取り組んでいきます。ニホンミツバチがシイの木の花の受粉を助け、その実がネズミの餌となり、そのネズミをヤマネコが食べていると聞きました。ニホンミツバチにとって棲みやすい森林づくりは、実はヤマネコの棲みやすい豊かな環境づくりにも繋がっているんですね。

対馬市ニホンミツバチ部会の扇さん！



対馬市ニホンミツバチ部会の扇さん
ありがとうございました！

対馬市ニホンミツバチ部会
TEL: 0920-52-7135
FAX: 0920-52-7139
HP: <http://conosole.jp/>
E-mail: info@conosole.jp



今日の一枚

【家内板】

扇の上では冬まで近づき、すいぶん寒くなりました。

佐藤渡からヤマネコセンターに来るまでの案内板が老朽化していましたので、新しい案内板に交換しました。それぞれに可愛らしい注意事項が書かれています。是非ご覧下さいね。福馬君もヤマネコセンターで待っていますよ。

編集後記

もうすぐクリスマスですね！今回のとらやまの森もクリスマスカラーにしてみました☆来年も皆さんとヤマネコにとって良い年になる事を願っています。



第22回ヤマネコ・クイズの答え！

アマサギに返り討ちされてしまう、が答えでした！

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>



Ft-73 (愛称: ナナミ) 野生復帰とその後・・・



ナナミ、再保護のマン報告

十一月末、ヤマネコセンターにて一年近くの治療を経たメスのヤマネコ(愛称ナナミ)が上対馬町豊で野生に帰りました。ナナミには首輪型の小さな発信機を着け、その後の行動を追跡調査できるようにしました。

ナナミは歯の状態などから、高齢の「おばあちゃんヤマネコ」であると思われるので、野生で生きてきた期間が長く、賢く生き延びてくれるはずと信じて見守っていました。

しかし、放獣から約一ヶ月が経った十二月三十日、地域住民の方々から「弱った様子の首輪付きのヤマネコを見た」と連絡を頂き、緊急捕獲を試みました。三十一日には豊の集落内で保護することができ、一命を取り留めたものの、放獣時より一キロ弱も痩せていました。自然界とは常に厳しい場所であると改めて思い知らされる結果でした。まずはナナミの状態回復を見守りながら、今後の方針を決める予定です。

あと少し、保護が遅ければこのヤマネコは死んでいたかもしれません。地域の皆様の「連絡が今回の救護を成功へと導いてくれました。」と連絡くださった皆様、本当にありがとうございます。

対馬島内にヤマネコが百頭弱と言われる現状では、その一頭一頭が大事な存在です。皆様からの一本の電話で助かる命があるかもしれません。ヤマネコを見かけた際は、ヤマネコセンターまでご連絡をお願いします！

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分(入館は16時まで)までとなり、休館日は月曜日ですが、祝祭日の場合は開館し、翌日が休館日となります。ゴールデンウィークは4月29日(土)～5月7日(日)の期間は開館しており、5月8日(月)・9日(火)は休館日となります。

対馬の環 News



11の番の日

一月九日に上対馬町比田勝で行われた「11の番の日」イベントにブーオ番の「イイベント」にブーオス出展しました。つばきちゃんもバレードに参加し、一日騎馬隊長に任命された子ども達や対馬馬、うみまるちゃんと記念撮影が出来て嬉しそうでした。



騎馬隊長かっこいい☆

ヤマネコにとって、春は出産の季節です。母ヤマネコが交通事故にあつてしまつと、子ネコも命の危険にさらされます。今後も「人にも野生動物にも優しい運転」をお願いします！

館内イベント☆

春はヤマネコの出産の季節なので、現在ヤマネコセンターでは、動物園で飼育しているヤマネコや対馬にいるヤマネコが無事元気な赤ちゃんを産んでくれるようお願いを込めて「千羽鶴」を飾っています！



☆誕生祈願☆

また、ヤマネコセンターのアイドル「福馬」は四月三日が誕生日です。四月は福馬へのお祝いメッセージも募集しています！メッセージ記入してくれた方（先着五十名様）には、福馬の缶バッジをプレゼント！お喜ばせ、福馬に会いにきて下さいね！

対馬学フォーラム

十二月十一日、厳原町で行われた対馬学フォーラムのポスター発表会にヤマネコセンター・ステーションも参加しました。ヤマネコや食と農、水産、地域づくり、教育など様々なテーマで五十四本の発表がありました。他にも島内の小中高等学校の発表、特定のテーマに関して現状や課題を発表し、参加者全員で共有する企画集会もあり、改めて対馬の良さを知れる場となりました。



～佐須奈小学校の発表～

スノードームを作ろう！

十二月十七日、ヤマネコセンターで「スノードームを作ろう」イベントが開催され、島内各地から親子で十九名の方が参加してくれました。クリスマス直前だったので、サンタヤマネコやヤマネコのエサ（ネズミやカエル）のイラストなどを入れたりして、みんなそれぞれが個性豊かで対馬らしいスノードームを作ってくれました！家でも手軽に作れますので、今回のイベントに参加出来なかった子もぜひ挑戦してみてください！



～集会写真～

退職のご挨拶

交通事故対策を1年間担当させていただきました福成です。この1年間でたくさんの人にお世話になり、対馬でしかできない経験を積むことができました。4月から地元の福岡県に戻りますが、魅力いっぱいの対馬を宣伝していきたいと思ひます。短い間でしたが、ありがとうございました。



対馬野生生物保護センター
アクティブレジャー
福成 由佳

振り返ると、たくさんの方々と関わらせていただき、たくさんの方々に支えられた、とても充実した3年間でした。この3年ですっかり対馬に魅了され、退職後も対馬に残ることになりました！また違う形で、ツシマヤマネコや対馬の自然と関わっていけたらと思ひています。3年間本当にありがとうございました。



厳原事務室
アクティブレジャー
山口 貴子

事務補佐員として約半年、ツシマヤマネコの飼育員として約4年半勤務させて頂いた後沼です。対馬の皆さんに支えられて、充実した5年間を過ごすことができました。これからは別の形で対馬やツシマヤマネコ保護活動を応援できればと思ひます。5年間ありがとうございました。



対馬野生生物保護センター
飼育員
後沼 暁

センター用語

暗渠（あんきょ）…道路などの地下に埋められた水路のこと。カルバートともいう。

やまねこ News

箱糞に入ったヤマネコ

十一月二十五日、上対馬町五根緒で箱糞に入ったオスの成獣を保護しました。検査の結果、健康な個体だったため、すぐに野生に帰すことになりました。そして翌日、「ゲンコ」(元気の「元」に五根緒の「五」という愛称を付けて下さった保護者の方に見守られながら、五根緒の山へ帰っていきましました。

冬は餌が少ないため、餌を求めて家屋や鶏小屋にヤマネコやテンが侵入することが多くなります。侵入できる隙間がないか、点検や補修をお願いします。

またも交通事故…

一月六日に、上対馬町佐須奈に怪我をしたヤマネコがいる」と対馬北警察署から連絡があり、現場に職員が駆けつけましたが、到着時には死亡していました。今回は残念でしたが、過去には、素早い通報により、交通事故で溺死の状態から命を救われ、野生に帰ったヤマネコもいます。迅速な連絡をして下さった対馬北警察署の方々に、ありがとうございます。今後皆様にはヤマネコの目撃情報の連絡にご協力頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



道路渡りたかった…



おなか空いてて…

ヤマネコセンターに仲間入り

十一月十八日、福岡市動物園からメスのヤマネコ(愛称ナミ)がヤマネコセンターにやってきました。ナミは、もうすぐ二歳になる良いしん坊な女の子です。生まれつき心臓の病気を持っているので、繁殖に参加することができず対馬に来ることになりました。

現在は、展示スペースとは別のところで飼育しており、直接動いている姿を見て頂くことはできませんが、今後は写真などで皆様にもお見せできればと思っています。



食いしん坊な女の子♪

飼育下最高齢のヤマネコ死亡

福岡市動物園で飼育していた飼育下最高齢のヤマネコ(愛称フミ)が平成二十九年一月十一日に死亡しました。フミは平成十一年二月に対馬市上対馬町で捕獲され、十九年十ヶ月以上を生きたと推測されます。晩年のフミは福岡市動物園のスタッフさんに大切にされ、元気に過ごしていました。

フミは平成十二年四月に飼育下で初めての子ネコを産み、延べ十一頭の子ネコを出産しました。ツシマヤマネコ保護増殖事業の前進に大きな貢献をしたフミに改めて感謝の念を捧げます。



フミ、ありがとう

下島だより⑭ ～久しぶりのヤマネコ生息情報！～

今回は、下島で久しぶりに確認されたヤマネコについてお伝えします。万間橋より南の下島では、上島と比べてヤマネコの生息情報が非常に少なく、生息数はごくわずかと考えられています。また、近年の生息情報は下島の北部に限られ、平成28年の5月以降は情報が途絶えていました。

平成28年11月、美津島町の黒瀬(城山)にてヤマネコの姿が約半年ぶりに自動撮影カメラで捉えられました。また、久須保では約1年9か月ぶりにヤマネコの糞が見つかりました。

ヤマネコの交通事故は専ら上島で発生していますが、下島でもヤマネコが道路に突然飛び出してくる可能性があります。特に日没から早朝にかけて車で道路をご通行の際は引き続き安全運転に努めて頂きたいと思います。また、ステーションでは下島のヤマネコの目撃情報を集めています。ヤマネコかも?と思われたら【0920-57-0101】まで情報をお寄せ下さい。



藤原事務室
自然保護官
高辻 陽介



城山



久須保

第23回ヤマネコ・クイズ!

平成29年度は、対馬野生生物保護センターが開館してから何年目になるでしょうか?

答えはウラをみてね!⇒

飼育下繁殖に参加している動物園を紹介するコーナー!

今月の動物園 **沖縄こどもの国**

日本最南端の動物園。ゾウやキリンなど世界の動物をはじめ、タヌキやキツネなどの日本の動物。またカンムリワシ、カラスバト、リュウキュウヤマガメをはじめとする琉球弧の生き物など約150種類を飼育・展示しています。琉球弧の生き物については、野生動物だけでなく在来家畜も飼育し、不定期ですが施設内にある古民家「ふるさと園」へ家畜を移動しての情景展示や昔行われていた「琉球競馬」の再現も行っています。日本本土とは一味違った南国の動物園に遊びに来てください。



みんな
沖縄に来てね♪

チンパンジー
すぐる

お問い合わせ先



リュウキュウヤマガメ



オリイオオコウモリ



カンムリワシ

沖縄こどもの国
〒904-8021 沖縄県沖縄市胡屋5丁目7番地1号 TEL: 098-933-4198
休園日: 火曜日 (祝日の場合はその翌日)

写真提供 (沖縄こどもの国)

今回の対馬のあの人この人は...

No.12 上県土木出張所 井手さん

1. どのようなお仕事をされていますか?

長崎県が管理する国道・県道のうち、上県町・上対馬町にある道路の拡幅や維持管理を行っています。

3. ヤマネコをはじめとした動物たちの主な事故対策物を教えてください!

ヤマネコが道路上を横断せずに済むよう道路下の暗渠に通路を作った「ネコ走り」、ヤマネコに速度を出した車の接近を知らせる「リブ付区画線」、ヤマネコが道路に飛び出さないように作った「フェンス」などが挙げられます。中でもヤマネコセンターと設置場所を相談しながら作った「ネコ走り」は、数ヶ月後に実際に使ってくれたので嬉しかったです。



ネコ走り



井手さん
ありがとうございます!
マゼいました!

2. センターと関わるようになったきっかけはなんですか?

私の担当する工事現場がヤマネコの交通事故が多い場所だったので、できる限りヤマネコに配慮した道路を作れるよう、ヤマネコセンターと話し合いを重ねてきたのがきっかけです。その後、ヤマネコを複数回目撃し、私達のすぐそばにいることを知ったと同時に早急な交通事故対策も必要だと感じ、積極的に協力するようになりました。

4. 今後の目標を教えてください!

現在、道路工事やヤマネコ対策、道路景観などの情報を対馬振興局Facebookを通じて発信しています。また、私が撮影したヤマネコの動画や写真も掲載しています。今後も対馬に関する様々な情報を発信していきたいと思っています。

長崎県対馬振興局上県土木出張所
TEL: 0920-84-2020 FAX: 0920-88-0000
HP: <https://www.pref.nagasaki.jp/section/ta-kaeiagata/>
★Facebookでも情報発信中★
<https://www.facebook.com/rushina.nagasaki/>

編集後記

長〜い冬も終わり、ようやく春がやってきました。佐藤深山ダムの桜も楽しみです!! お花見ついでにヤマネコセンターにも遊びに来てみませんか?



『田嶋フアンタジー来☆』
ヤマネコセンター関係者内(09-06も吉む)はベビーラッシュです! 一月にも可愛い女の子が生まれました! 是非ヤマネコたちにも、たくさんの子ネコを生んでほしいとJURPA。大きくなったなら、獣医さんや野生生物保護のお仕事に就くのかな? 子ども達がどんな成長を見せてくれるか楽しみにです! みんな元気に大きくなあれ!

第23回ヤマネコ・クイズの答え!

平成29年度で、開館20周年を迎えます! 記念イベントも企画しているので遊びに来て下さいね♪

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>



☆はじめての子育て、がんばってます☆

福岡市動物園で子ネコ誕生！

四月二十七日未明、福岡市動物園でツシマヤマネコの子ネコが誕生しました。今は、母乳を飲んで元気な顔をしています。

この子ネコの父親のNo.69(愛称:Oちゃん)は、飯原町小浦にて保護され、ヤマネコセンターで治療を受けた後、平成二十二年十月に福岡市動物園に移送されました。これまでに、No.39(愛称:もち)との間に子ネコ五頭が誕生しています。

母親のNo.74(愛称:妃)は、平成二十七年六月に上県町瀬田にあるプレハブ倉庫内で発見されました。現在は、母ネコが育児を放棄したため生後一ヶ月程でヤマネコセンターに保護され、同年十一月に福岡市動物園へ移送されたヤマネコです。妃はまだ二歳と若く、今回が初めての出産でしたが、ちゃんと子ネコの世話をしてくれていて、とても安心です。

対馬島内で保護されたヤマネコが、動物園で新しい命を残し、飼育下繁殖の成功につながるのとはとても喜ばしいことです。

Oちゃんや妃を発見し連絡して下さった地域の皆様、そして大切に飼育し出産まで万全な準備体制を整えて下さった福岡市動物園の皆様にご感謝いたします。また、ヤマネコセンターで産生祈願の干羽鶴にご協力いただいた皆様にも感謝申し上げます。

そして五月十一日には、京都市動物園でも新たな命が誕生しました。次号では、京都市動物園で誕生した子ネコたちと頑張ってお産した母ネコを紹介したいと思います。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分(入館は16時まで)までとなります。

休館日は毎週月曜日ですが、月曜日が祝祭日の場合は開館し、翌日火曜日が休館日となります。

【6月】19日、26日 【7月】7日、10日、18日、24日、31日 【8月】7日、14日、21日、28日 【9月】4日、11日、19日、25日は休館日です。

対馬の環 News



福馬、十三歳になりました♪

四月三日にヤマネコセンターのアイドル「福馬」が十三歳になりました☆
 ☆誕生日当日は休館日でしたが、四月に来館して下さった皆様はたくさんお祝いのメッセージをいただきました！準備していたBIRTHDAYバッジ(限定五十個)はあっという間になくなりまして！お祝いして下さった皆様、ありがとうございます。



ヤマネコ教室のマン案内

ヤマネコセンターでは、ヤマネコをはじめとする対馬の自然の豊かさを学び、島の自然を誇りに思う子どもたちの育成を目的に「ヤマネコ教室」を行っています。ヤマネコ教室は、ヤマネコセンターや野生順化ステーションだけではなく、島内各地で出張開催もできます！
 また、学校の総合学習や社会人研修の内容に活用いただける限り対応いたしますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



ヤマネコ教室の様子

春の交通安全キャンペーン

四月七日、対馬北警察署と交通安全協会、県、市、ボランティアの皆様の協力のもと、上対馬町比田勝で春の交通事故防止キャンペーンが行われ、ヤマネコセンターも参加しました。皆様に一人にもヤマネコにもやさしい運転を心がけていただくため、つばきちゃん、ろくべえくんと一緒に交通安全を呼びかけました。



交通事故をなくそう！

ヤマネコセンター二十周年☆

今年の八月で、ヤマネコセンターは開所二十周年を迎えます。このため、十月七日・八日に予定している「とらやま祭り」に併せて二十周年記念イベントを開催します。このイベントではこれまでヤマネコの保全に携わって下さった方々に感謝し、たくさんの方々々に楽しんで下さるヤマネコセンターやヤマネコについて知ってもらえるようなイベントにしたいと思いますので、遊びに来て下さいね！

詳細については、後日お知らせします！



20周年記念手ぬぐい

新職員のおいさつ

4月から事務補佐員として勤務している、増真由子です。
 身近に素敵な自然が溢れている対馬だからこそ、私たち人間にできることは何でしょうか。対馬のことやヤマネコについても、まだまだ勉強中の身ではありますが、皆さんと一緒に考えていきたいです。精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



対馬野生生物保護センター
 事務補佐員
 増真由子

4月より勤務している太田です。主に公開ヤマネコの飼育や、怪我や病気で保護されたヤマネコが野生復帰するまでのトレーニングを担当しています。出身は静岡県ですが昨年まで熊本で動物看護師をしておりました！昨年の夏に対馬を訪れ、豊かな自然の残る対馬に惚れ込み移住してきました！現在33歳、若輩者という年ではありませんが様々なことで皆様の助言をいただきたいと思っています。これからよろしくお願いします！



対馬野生生物保護センター
 飼育員
 太田 幸宏

4月から佐須泉の動物病院とヤマネコセンターの両方で勤務しています。長崎県佐世保市出身で、地元が大好きです！専門学校に通っていた頃から、将来は絶対にヤマネコに携わる職業に就くと決めており、憧れだった職業に就けて幸せです。
 走ることが大好きなので、今年は国境マラソンに挑戦しようと思っています！これからよろしくお願いします。



対馬動物医療センター
 対馬野生生物保護センター
 動物看護師
 大串 南央

センター用語

ヌスピトハギ... マメ科の植物で、「くつつき虫」の1つ。夏には3~4mmの小さなピンク色の花が咲く。1本の茎に3枚の葉をつけるのが特徴。探してみてください！

やまねこ News

濃部・三根で交通事故発生！

二月十九日に睡町三根で、三月十日には美津島町濃部でヤマネコの交通事故が発生しました。今年度は少しでもヤマネコの交通事故が減らせるよう、安全運転にご協力をお願いいたします。

今年度から交通事故に遭ったヤマネコの情報(生死問いません)をヤマネコセンターに連絡して下さった方にも貼る事ができる「マグネット」を贈呈します。また、ヤマネコの目撃情報を寄せて下さった方やヤマネコの保護に協力して下さった方には「ステッカー」をプレゼント！

ヤマネコの目撃情報があった地点には「ヤマネコ」飛び出し注意の看板を設置したり、周辺でパトロールを行ったりするなど、の対応をいたします。ヤマネコセンターの職員だけではどうしても限界があるので、地域の方々のお力添えが必要です！もしヤマネコを見かけましたら、ヤマネコセンターに情報提供を！

電話番0920-84-5577

「ゆめがこ」の「ゆめがこ」です！



マグネット



ステッカー

小浦でヤマネコ再発見！

厳原町小浦にて、平成二十八年十二月及び平成二十九年一月の調査で採取された糞が、ヤマネコの糞であることが判明しました。下島中部でのヤマネコの確実な生息情報は、平成二十一年十一月に厳原町小浦で保護されて以来、約七年ぶりでした。

近年のヤマネコの生息情報は下島北部に限られていましたが、今回、下島中部でもヤマネコが生息していることがわかり、驚きのニュースとなりました。

一方で、交通量の多い国道をはじめ、小浦周辺で交通事故の発生が心配されます。



城山のヤマネコ

妊娠中のヤマネコ死体収容

三月二十一日、上対馬町五根緒にてヤマネコの死体を収容し、ヤマネコセンターにて検査したところ、三頭の子どもを身にもっていました。また、収容したヤマネコの頭と頭には、イヌに咬まれたかのような深い傷があり、この母子四頭の死因は、イヌなどに襲われた可能性が考えられます。

イヌは咬む力が強く、人が野犬に襲われたケースも報告されています。飼い犬を外に出すときには、必ずひもでつなぐようにしましょう。



いっぺんに4頭の命が...

新職員・担当異動のあいさつ

この春から駐居し自然公園内にあるツシマヤマネコ野生種化ステーションに来ました。

出身は長崎県佐世保市で、対馬には、昔何度か来たことがあるのですが、住むのは初めてです。住んでこそわかる対馬の魅力をたくさん知りたいと思います。これからよろしくお願いします。



厳原事務室
アクティブレンジャー
こんどう 由佳
近藤 由佳

6月から対馬にやってきました武田竜典です。

ヤマネコに関して知らないことも多く、島での一人暮らしもまだまだ慣れないことも多いですが、色んなことにチャレンジして学んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



厳原事務室
アクティブレンジャー
たけが 竜典
武田 竜典

昨年度は、主に普及啓発を担当していましたが、今年度からアクティブレンジャーとして、交通事故対策や調査等を担当いたします。これからはヤマネコや地域の環境保全に貢献出来るよう懸命に努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。



対馬野生生物保護センター
アクティブレンジャー
ゆづり 真帆
沼倉 真帆

第24回ヤマネコ・クイズ！

ヤマネコの糞はどんな場所でよく見つかるでしょう？

答えはウラをみてね！⇒

NEW!

対馬にいる生き物をご紹介します！
 第1回 ツシマウラボシシジミ
 学名: *Pithecopa fulgens tsushmanus*



日本では対馬にのみ分布しているとても美しいチョウで、平成29年1月に国内希少野生動植物種に指定されました。草に止まると名前の由来である羽の裏の“星”が目立ち、オスは羽に青い光沢を持ちます。左下の写真は草に隠れていたハナグモの仲間に捕まってしまったオスのチョウです。数が少なくめずらしい生き物でも、自然界では容赦なく命をうばわれてしまうこともあります。

このチョウは杉などの植林地に生息しており、戦後の拡大造林の波に乗って島内の分布域を拡大したといわれています。しかし、対馬の林業の衰退やシカの急増によってエサとなるメスビトハギ(植物)が急減したため、幻のチョウとなってしまいました。

現在、学術・行政機関が保全活動を協働で進めており、いつかその美しい姿が対馬の林で見られる日が来るかもしれませんね。



今回の対馬のあの人この人は…

さかい よしあき
 No.13 境 良朗 さん

対馬の昆虫の魅力を教えてください！

対馬には多種多様な昆虫が生息し、フィールドに出るたびに新たな発見があるのが魅力です。あまり知られていないかもしれませんが、対馬は専門家・愛好家にとってあこがれの島です。

一番好きな昆虫は何ですか？

あえて言えば「スミナガシ」という蝶です。実物を見て、その独特の色が淡くて感動しました。また、子どもの頃に団地で見た「キリシマミドリシジミ」もとてもきれいで、蝶に興味を持つきっかけになりました。

(向かって左側が境さん)



昆虫標本づくりのようす♪

境 良朗 さん
 ありがとうございます！

近年、対馬の昆虫が減っているみたいですね…？

昆虫の餌となる植物をシカが食べてしまうのが非常に大きい原因だと思います。特に平成21年から22年にかけて、目に見えて下草が減ってしまったように思います。昆虫が減ると、巡り巡ってヤマネコにも厳しい環境となり、対馬の自然が今後どうなるのかが気がかりです。

今後の抱負を教えてください！

素晴らしい自然に囲まれた対馬で、特に子どもたちが生き物好きに育ってくれるように、これからも情報発信していきたいと思っています。また、紹介する写真は記録(資料)としても残していきたいと思っています。

境良朗さんが発信している情報はこちら！♪

WEB:<http://yohbo.main.jp/> (対馬の昆虫館)
 ブログ:<http://blog.yohbo.main.jp/>

編集後記

すっかり日差しも強くなりました！楽しいの夏がやって来ます☆外に出てたくさん生き物を探してみよう！熱中症には気を付けて下さいね。



【新】今号の目次☆1
 上原町佐藤・佐須奈
 間で「美止タトシネル」
 の工事をしている様子！
 早田橋特定建設工事共
 同企業体の皆様より、
 ヤマネコの交通事故防
 止を呼びかける「のぼり
 旗」を寄贈していただき
 ました。本当にありが
 とうございました。
 蛍光の「フウ」とオレ
 ソンジでも目立ちま
 すーこれから島内のど
 こで披露されるのが、お
 楽しみに！

第24回ヤマネコ・クイズの答え！

ヤマネコは草が生い茂っていない見通しのいい場所や水辺、実は分かれ道の真ん中で糞をすることもありますが！
 イエネコのように砂や土に穴を掘って隠すことはあまりありません。

とらやまの森

2017 秋号
No. 77

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

いっぱい食べて大きくなあれ♪



帝王切開成功し、子ネコ誕生！

今回は京都市動物園で生まれた子ネコについて紹介しますー生まれた子ネコの母親はメイ(三歳)、父親はキイチ(十歳)です。この二頭は去年も交尾して妊娠しましたが、難産で子ネコは生後すぐに死んでしまいました。

今年は一頭の交尾が確認されると、「今年こそはー」と、飼育員や獣医師が入念な準備を整えました。例えば、子ネコがお腹に何頭いるかを調べるためのレントゲン検査を、子ネコや母ネコに負担を与えないように麻酔をかけず、短時間で行ったそうです。

そして、五月十一日、メイに陣痛がきました。再び難産となりましたが、獣医師の素早い判断で帝王切開手術(お腹を切って子ネコを取り出す手術)が行われ、オスとメス一頭ずつの子ネコが誕生しました。ヤマネコの帝王切開手術は今回が初めての成功事例となりました。

さらに初の人工哺育も始まりました。産まれたばかりのころは職員が二十四時間体制でお世話をする必要があり、とても大変だったそうです。その甲斐あって二頭ともすくすく育ち、今ではお肉を食べたり屋外ケージでじゃれあいながら走りまわったりするほど大きくなりました。

今回の帝王切開と人工哺育の成功は、ヤマネコの繁殖にとって大きな一歩になりました。初めて得られたデータやノウハウは、今後他の動物園や、対馬島内で子ヤマネコの救護があった時に役に立てられることでしょう。

開館時間と休館日のお知らせ

開館時間は10時～16時30分(入館は16時まで)までとなります。

休館日は毎週月曜日ですが、月曜日が祝祭日の場合は開館し、翌日火曜日が休館日となります。

【9月】19日、25日【10月】2日、10日、16日、23日、30日【11月】6日、13日、20日、27日【12月】4日、11日、18日は休館日です。

対馬の環 News



あじさい祭り

六月十八日、上県町佐藤の湊浜シーランドであじさい祭りが開催されました。例年よりあじさいが少なめでしたが、ウォーキングや会場内は、たくさんの方の地域の方で賑わっていました。今年度もヤマネコセンターはブース出展やクイズラリー、ヤマネコセンター見学ツアーを行いました。毎年のおじさい祭りでは地域の人と人の繋がりを強く感じることができ、ので、今後もうきはさちちゃんと一緒に参加やお手伝いをしたいと思います。



ウォーキングの様子

とらやま祭り

十月七〜八日(土)にとらやま祭りを開催します！とらやま祭りは、平成二十七年に制定されたツシマヤマネコの日(十月八日)やヤマネコについて知ってもらうためのイベントです。場



エア遊具もやってみよう

所は、旧佐藤小中学校体育館で実施します。内容は、巨大双六・看板作り・調直体験・ヤマネコの交通事故ポスター展の表彰式などを予定しています。詳細はヤマネコセンターのウェブサイトにや店舗にチラシを掲示する予定です。みなさんのご来場お待ちしております。

応援団との活動

ツシマヤマネコ応援団はツシマヤマネコをはじめとする対馬の野生動物を守り、次世代に引き継ぐことを目的として活動するボランティア団体です。

五月二十七日には親愛児童クラブの子どもたちと二年前に植樹したどんぐり苗周辺の草刈り、小浜での交通安全キャンペーン、六月三日には上対馬町舟志で「舟志の森自然観察会」と「交通安全キャンペーン」、七月八〜九日には対馬青年の家で「あつまれ！子どもヤマネコ応援団」として対馬の間伐材を使ったコースターや、ヤマネコのエサとなるヒメネスミ用の巣箱作り、交通事故防止キャンペーンを行いました。今後、夏は動物の道路下の横断通路となるカルバートの清掃！冬は小動物の住みかとなるようなドングリ苗の植樹！など、ツシマヤマネコ応援団と一緒に出来ることから活動を行っていききたいと思います。



谷裏箱が完成☆



草刈後にバシャリ！

「ツシマヤマネコ」新団員募集中心！興味のある方は事務局(ヤマネコセンター)までお気軽に連絡ください！事務局【小宮・治雄】

職員日誌② センターの釣り好き日誌

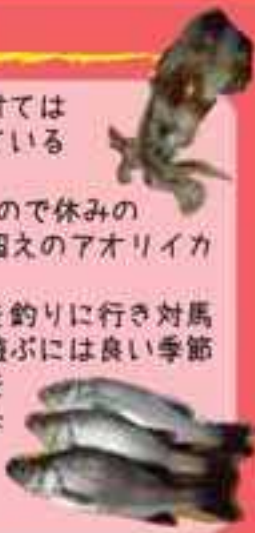
対馬に来てから趣味とご飯のおかずの為に時間を見つけては釣りに行っています。ヤマネコセンター周辺で釣りをしていることもあるので見かけた方もいるかもしれません。

着任した4月は春のアオリイカ釣りのシーズンでしたので休みの度にイカ釣りに行き、本土では憧れの大きさである3kg超えのアオリイカを釣り上げることが出来ました！！

5月からはヒラスズキやキス、カマス、イトヨリダイを釣りに行き対馬ならではの釣果に恵まれました。これから夏本番、海で遊ぶには良い季節になってきます。海難事故の防止や遊んだ後の後片付けをしっかりと楽しい時間を過ごしましょう！！私も今年の夏からは磯デビューをして憧れのヒラマサを釣りに行きたいと思っています！！



対馬野生動物保護センター
飼育員
あまの さとし
太田 幸史



センター用語

人工哺育(じんこうほいく)…飼育員や獣医師がミルクを飲ませたり、お肉を食べさせたりして母ネコの代わりとなって子ネコを育てること。

やまねこ News

下島にて、傷病ヤマネコ確認

四月二十六日、美津島町黒瀬の城山史跡周辺の自動撮影カメラに、前足を負傷したヤマネコが撮影されました。くくりワナによって負傷した可能性が高いと思われる、ヤマネコセンターでは緊急捜索と捕獲を試みましたが、保護することができませんでした。



腫れている右前足

下島でヤマネコが、まさか狩猟用のくくりワナに掛かるとは、誰も想定していませんでした。城山史跡の周辺では、平成二十二年一月から自動撮影調査が開始されましたが、ケガをした個体が撮影されたのは初めてです。下島では過去一時期まったく姿を見られなくなっていたヤマネコ。しかし、近年下島の複数の地域で確実な生息情報が得られるようになってきました。上島だけでなく、全島の狩猟者の皆様には、ヤマネコの錯誤捕獲の可能性も考慮した、「ごまめなワナ場の見回りをよろしくお願いたします。

誤ってヤマネコが狩猟用の罠に掛かってしまっても、罪に問われることはありません。対応に参りますので、すぐにヤマネコセンター(0920-84-5577)まで「1」報をお願いいたします。

志越トンネルで交通事故

五月十七日、「峰町志多賀の志越トンネル」にヤマネコのような死体がある」と通報がありました。職員が現場へ向かうと、若いオスのヤマネコの死体がありました。お腹が裂け、骨盤骨折があったので、死因は交通事故です。普段ヤマネコを見ることのないトンネルの中で、今回のように、若くて経験の浅いヤマネコが迷い込むこともあるようです。トンネルの中でもスピードを出しすぎず、安全運転を心がけましょう。



トンネル内に血痕

カルバートにネコ走り設置

上対馬町浜久須の県道三十九号に、長崎県上県土木出張所が「ネコ走り」(カルバート内)に水がたまっても小動物が水路内を通行できる道」を設置してくださいました。設置後、実際にヤマネコなどが利用しているが自動撮影カメラで調査を行ったところ、複数頭のヤマネコやツシマテンなどがネコ走りを活用している様子が写りました。上県土木出張所は野生生物の交通事故防止にとても熱心に取り組みされており、今後も協力していきたいと考えています。



ネコ走りでデート中

下島だより⑭ ～ステーションにヤマネコがやってきた！～



6月9日、ツシマヤマネコ野生順化ステーションに初めてヤマネコがやってきました。雌のヤマネコで、名前は「ナナミ」といいます。平成27年12月に上対馬町豊で弱っているところを保護され、治療した後に一度野生に帰したのですが、再び保護されて、6月までヤマネコセンターで治療を受けていた個体です。ステーションには、野生順化ケージという柵で囲った広いスペースがあります。その中には草原や林、沢や池などがあり、対馬の自然に近い環境が整っています。今後、ナナミがこの自然の中で餌(ネズミ、鳥など)を捕まえられるか、風雨をしのいで生活できるかなど、対馬の自然の中で生きていくための力が備わっているかを確認していく予定です。これからこの広い野生順化ケージの中でナナミが、どんな表情や行動を見せてくれるのか！とても楽しみです。



熊原事務室
飼育員
原田 元基

第25回ヤマネコ・クイズ!

平成29年度、どこの動物園でヤマネコの赤ちゃんが産まれたでしょうか?

答えはウラをみてね! =>

対馬にいる生き物をご紹介します！
 第2回 千ヨウセンケナガニイニイ
 学名: *Suishia coreana*



日本では対馬だけに分布する大陸由来のセミの1種です。セミといえば夏のイメージが強いと思いますが、このセミは秋(10~11月)頃に成虫となって現れます。全身に細かい毛が密生しており、後羽が透明にふちどられた橙褐色をしているのが特徴です。コナラなどの明るい広葉樹林に生息し、ややかん高い声で「チーッ、チーッ、チーッ」と鳴きます。

近年、生息環境は残っていても道路やトンネルなどの公共工事による騒音の影響によって、生息を確認できる場所が減っていると考えられています。

2000年から環境省レッドリストで絶滅危惧種(Ⅱ類)に指定されていますが、現在特別な保護対策はとられていません。



今回の対馬のあの人この人はー

しんぐ まさよし
 No.14 神宮 正芳 さん

田の浜ツシマヤマネコ共生農業実行委員会会長を努め、「これまで」を大切にしつつ、「これから」の農業を考えた地域農業を行っています。

対馬の魅力とは？

自然の恵み(海の幸、山の幸、里の幸)だと思います。安全・安心と自信を持って言える農作物の生産を通して、島外へ出た人にとっても自慢の故郷に、帰ってくる甲斐のある農村を作っていきたいです。



神宮正芳さん

普及啓発に力を入れる原動力とは？

イベントに参加してくれた子ども達の笑顔が忘れられないからです。いつか大人になったら、生き物探しや田植えをした子どもの頃の自然体験を思い出して、次世代へと繋げていってほしいです。



「田んぼで遊ぼう！」という自然ふれあいイベントを共催し、やまねこセンターの夏季実習にもご協力頂いております。

今後の取り組みについて教えて下さい!!

農業とは、人間のために食べるものを作るだけでなく、美しい景色やたくさんの生き物を育む産業でもあります。これからも、環境にも人にも優しい農業に取り組み続けることで、対馬の素晴らしい自然を守っていきたくです。

神宮さんご夫妻が発信している情報はこちら!♪

ブログ: <http://shingunoon.exblog.jp/>

編集後記

春に生まれた子ネコたちは秋から冬にかけて親離れをします。みなさんの安全運転で、子ネコたちの一人だちをやさしく見守ってあげてください。



現地で感じたのは野生生物保護の道前線を担う方々の情熱! 沖縄の日差しと皆さんの情熱に私たちも熱せられて対馬に戻ってきまして、沖縄で得た熱を力にしたいと思えます!

【本稿5期2回】7月にヤマネコの飼育動物園関係者が集まる会議が沖縄であり、ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコの保護の取組みも学んできました。

今日の一枚

第25回ヤマネコ・クイズの答え!

京都市動物園と福岡市動物園の2カ所です。現在、すくすくと元気に成長中!!

とらやまの森



<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

開所二十周年にあたって

対馬野生生物保護センター（通称ヤマネコセンター）は、平成九年七月三十一日に開所式を行い、本年で開所二十周年を迎えました。この節目の年を迎えられたのは、ひとえにツシマヤマネコの保全に熱い思いを持った方々や地域の皆さまの「支援・」ご協力のおかげでございます。

この二十年の間に「ツシマヤマネコ」の保護行政は様々な進展がありました。平成十一年には飼育下の個体での繁殖の成功、平成十五年にはヤマネコセンターで飼育するヤマネコの公開の開始、平成二十六年には内山地区に「ツシマヤマネコ」野生順化ステーションの整備等、限られた紙面では書ききれないほどの出来事がありました。また最近ではツシマウラボシシジミの保護増殖事業や特定外来生物のツシマアカスズメバチの対応など、業務の幅もますます広がっており、当初四名のスタッフで開所したヤマネコセンターも現在では野生順化ステーションと合わせて十七名ものスタッフを抱える大所帯に成長しました。

次の十年はヤマネコセンターを訪れた方や地域の方々に「ヤマネコセンターがあつて良かった」と実感頂けるような施設を目指し、開所二十年を見据えて運営していきたいと思ひます。

環境省対馬自然保護官事務所

首席自然保護官

佐藤大樹

とらやま祭り開催！

ツシマヤマネコの別名である「とらやま」にちなんで、10月8日は「ツシマヤマネコの日」とされています。

そこで、対馬野生生物保護センターでは10月7・8日に『とらやま祭り』を旧佐藤小中学校体育館にて開催しました。

今年度はヤマネコセンター開所20周年ということもあり、盛り沢山な内容になりました。ご来場された皆様の楽しそうな声を聞いて、つばきちゃんがお友達の「ろくべえくん」と「たまひめちゃん」を連れて遊びに来てくれましたよ！

お越し頂いた皆様、本当にありがとうございました！！

ヤマネコセンターにも遊びに来てね

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝祭日の場合は開館、翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

【12月】18、25、29～31日、【1月】1～3、9、15、22、29日、【2月】5、13、19、26日、【3月】5、12日は休館日です。

対馬の環 News



動物愛護週間イベント!

九月十六日、豊玉町仁位のパールドームにてわんにゃんフェスティバルを開催し、沢山の方にお越し頂きました。動物愛護絵画コンクール表彰式やふれあい動物園、刈馬の乗馬体験のほか、動物愛護にまつわるクイズに答えるスタンプラリーが行われました。

このイベントをきっかけに、ハットは責任をもって最期まできちんと飼うというルールがあることを知ってもらい、動物愛護の輪が広がってほしいと思います。

名前が決まりました!

福岡市動物園で生まれたメスは、刈馬で沢山の縁が結ばれて誕生したことから、これからのヤマネコの未来を結んでほしいという願いから「結(ゆい)」。

京都市動物園で生まれたオスは、勇ましい顔つきなので「勇(ゆう)」に、父親のキイチから「キ(希)」をもらって「勇希(ゆうき)」。メスは優しい顔つきなので「優(ゆう)」に、母親のめいから「め(芽)」をもらって「優芽(ゆめ)」。

三頭とも素敵な名前ですね。



京都市動物園提供



福岡市動物園提供



ふれあい動物園

カワウソ、対馬で見つかる!

八月十七日、琉球大学の伊澤教授より「国内では三十八年ぶりとなるカワウソが対馬で見られた」と発表されました。この発表の様子は大きく報道されたのでご覧になった方が多いと思います。この発表の時には、ヤマネコセンターもたくさんの方からお問い合わせを受け、対応に大忙しでした。

この発見を受けて環境省は対馬全島に渡るカワウソの生息調査を実施し、地面の上に残されたカワウソの足跡や糞を確認することができました。糞は韓国やサハラに生息するユーラシアカワウソと近縁であるカワウソのものでした。

刈馬の河川や海岸にはカワウソが暮らしており、カワウソがいる環境は、刈馬が日本で唯一の場所です。そしてカワウソが安心して生息するためには河川や海岸の環境保全がとても重要です。刈馬で暮らす私たちも水の無駄遣いをしない、ゴミのポイ捨てをしない、河川や海岸の美化に努めるといった身近なことから河川や海岸の環境に配慮してカワウソにも優しい暮らしが出来たらと思います。



よまね動物園
カーラニア提供



カワウソの足跡

職員日誌③ 体験イベント開催!

こんにちは、私はヤマネコセンターにいるヤマネコの飼育員です。ヤマネコセンターではこの夏、小中学生を対象にヤマネコの調査体験と飼育体験のイベントを行い、私は飼育体験を担当しました。この飼育体験イベントでは普段見ることのできないバックヤードに入って、野生復帰訓練施設のカメラ操作や、ヤマネコの餌となるネズミのお世話、そしてヤマネコセンターの展示アイドル☆福馬くんにも屏越しに餌やりをしてもらいました。参加した子どもたちは、福馬くんの力強さにびっくり!いつもより近い距離でヤマネコと触れ合えて「楽しかった!」と最高の感想を頂きました。このような体験イベントを通して、ヤマネコセンターをもっと身近に感じてほしい、ちょっとだけ自然や野生動物を守ることに興味を持ってもらえたらと思います。



対馬野生動物保護センター
飼育員
あつみゆ
真川 ゆう



いつもとは違う角度から福馬の顔を見てみる
ネズミのお世話
福馬と大接近!

センター用語

野生復帰訓練施設…自分で餌を探し、しっかり捕って食べられるよう訓練をして、野生でもちゃんと生きていけるかを確認する非公開施設。

やまねこ News

秋～冬は交通事故に注意！

秋から冬にかけては、子ヤマネコが独り立ちをし、オスはメスを求めて行動範囲を広げ、活発に行動するため、交通事故に遭うヤマネコも増える傾向にあります。そして、この秋に親離れしたと思われる亜成獣の交通事故が十月三十一日に上県町佐須奈、十一月八日に上県町佐藤、十一月十六日に峰町三根と相次いで発生しています。

ヤマネコセンターではヤマネコの交通事故が増えないように「交通事故防止キャンペーン」に参加したり、皆様から頂いたヤマネコ目撃情報をもとにのぼり旗（寄贈・株式会社早田組様）や看板（寄贈・小宮建設様）の設置を行っています。

十月下旬から「上県町榎涌」「豊玉町仁位」「曾」「美津島町濃部」の道路上でヤマネコが目撃されています！目撃された場所はいずれも過去の事故現場に近く、今後の事故が心配されます。皆様からの情報で事故に遭う前にヤマネコの命を守る！とができるかもしれません！お気軽に情報提供ください。

住宅地でも事故発生！



秋のキャンペーン



一本の電話が救護に繋がる！

八月二十一日、三根の道路でうすくまるヤマネコを見た」と電話を頂き、自動撮影カメラを設置して付近を調べたところ、足を引きずって歩くヤマネコを確認しました。徐々に捕獲器に慣れさせて、九月二十六日ようやく保護できました。発見された方からは「峰町の三根と佐賀の間」にいたオスのヤマネコということにちなみ、「みさお」という愛称を付けて頂きました。骨髄骨折をしていましたが、今後の様子をみながら野生復帰を目指しています。



早くふに帰れますように

ポスター展☆入選者発表

平成二十九年度ツシマヤマネコ交通安全ポスター展は応募作品が過去最多の二百一作品！入選者（小学生の部）▼最優秀賞▼濱田龍聖さん（久田小一年）▼優秀賞○小学生の部▼里津寛人さん（久田小五年）○中学生の部▼以南祐希さん（東部中二年）、一般の部▼最優秀賞▼原口久美さん（峰町）▼優秀賞▼田中「すえさん」（豊玉町）他、計十三作品。

今後、応募頂いた全作品を島内で巡回展示します。作品のメッセージが多岐の方「届いてヤマネコの交通事故が少なくなりますように！」



ポスター展入選者

下島だより⑮ ～つばきちゃん、今里小学校運動会に現る！～

9月24日、今里小学校運動会につばきちゃんと一緒に参加してきました。「開会式」からみなさんと一緒にラジオ体操をしたり、「夢の対馬音頭」では大きな輪になって踊ったり、「地区対抗綱引き」では白熱した戦いを繰り広げることができました。他にもたくさんのプログラムに参加し、「一本いかが？」という競技では、つばきちゃんの代わりにステーション職員がコーラを豪快に一気に飲みする姿も見られました。

スローガン『もやせ!!今里だましい めざせ!!心の一等賞』のように、子どもから大人まで参加されたみなさんの一生懸命な姿はまさに一等賞でした！これからもつばきちゃんを見かけられましたら、ぜひ声をかけてあげてください♪



原田事務室
アクティブレンジャー
たけだ かつひら
武田 竜典



第26回ヤマネコ・クイズ！

つばきちゃんのヤマネコのお友だちは何頭いるでしょう??

答えはウラをみてね！⇒

対馬にいる生き物をご紹介します！

第3回 対馬馬 学名: *Equus caballus*

対馬馬は日本に8種類いる在来馬のうちの1種です。対馬では昔から荷物の運搬や農耕のために対馬馬を飼育されましたが、自動車や農業機械の大型化により飼育頭数が減少し、現在は3の頭ほども対馬にいません。文化や技術の進展により、人間と馬の関わりは大きく変化し、近年ではホースセラピーとして日本在来馬も全国各地で活躍しています。



対馬馬の首筋を掻いてあげると、口先を伸ばして、気持ちよさそうに寄り添ってくれます。特に、この口先の柔らかい部分がたまりません。(触るときは噛まれないよう気を付けて下さいね)

ぜひ皆様も対馬馬たちに会いに行ってみてください!! その愛らしい姿に癒やされること間違いなしです☆

対馬で対馬馬に会えるのはココ!
日保呂ダム馬事公園
あそびパーク



今回の対馬のあの人この人は...

No.15 対馬南地区交通安全協会

事務局長 小松 津代志 さん



小松さん
ありがとうございます
ございました!

1. どのようなお仕事をされていますか?

地域から1件でも事故をなくして、明るく住みやすい地域を作りましょう!という理念のもと交通安全業務(運転免許更新講習の開催(受託)、年4回の交通安全運動期間中のキャンペーンや街頭指導(安全誘導)など)を行っています。

2. これまでのヤマネコとの関わりは?

長崎県が行っているヤマネコ調査に調査員として9年間関わりました。平成19年に下島で23年ぶりに自動撮影カメラにヤマネコが写りましたが、あれは私ともう1名の調査員が回収したカメラに写ったものです。ヤマネコが写っていたと聞いたときはとても嬉しかったです。調査員をやる前は陸上自衛隊に勤めており、対馬警備隊のことを「ツシマヤマネコ軍団」と名付けたのも私です。対馬の森を守る山の王者「ツシマヤマネコ」にあやかりました。



交通安全キャンペーンにはヤマネコのつばきちゃんも参加しております★



対馬南地区交通安全協会
住所: 藤原町中村633 対馬南警察署内 TEL. 0920-52-5541
★免許更新の際はぜひ会員になってください!★

3. 対馬の魅力は?

歴史と希少な生物だと思います。ヤマネコを初めて見たときは感動しました。森の中では砲台跡も見ることができですが、これも後世へ残していくべきだと思っています。

ツシマヤマネコへメッセージ!

人も大切、ヤマネコも大切。人の交通事故だけでなく、ヤマネコの交通事故も減って欲しいと思います。

編集後記

冬は食べものが美味しく、ついつい食べ過ぎてしまいますね。来年も皆様とヤマネコにとって良い年になりますように♪



るのが楽しみです!

今日の一枚
【毎季実況】
毎年、ヤマネコセンターでは夏季実習を行っており、今年度も全国から6名の学生が参加してくれました。ヤマネコの保護活動以外にも地域の方々との交流など様々なプログラムを通して、野生生物保護についてこれまでとは違った印象や刺激を受けたのではないのでしょうか?今後もどんな学生が参加してくれるのか楽しみです!

第26回ヤマネコ・クイズの答え!

たまひめちゃん、ろくべえくん、さくらちゃん、しまひこくんの4頭です。対馬ヤマネコのPRで活躍しています!!応援してね☆

とらやまの森



<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

今年度は

8件の事故が発生!

(平成30年2月16日現在)



昨年十月末から一月までの約三カ月という短い間に、計七頭のヤマネコが交通事故で命を落としました。

一月二十六日の事故は、ヤマネコの交通事故の統計を取り始めた平成四年以降、一〇〇件目のヤマネコの交通事故となり、交通事故で死亡した一〇一頭目のヤマネコになってしまいました。現在、対馬に生息しているヤマネコは「七〇または一〇〇頭」と推定される中、交通事故が大きな減少原因となっていることがわかります。今年度、交通事故で死亡した八頭のヤマネコのうち、五頭は若いヤマネコでした。次世代を担う若いヤマネコの交通事故の多発は、将来のヤマネコの生息数に大きく影響を及ぼす可能性があります。

「ツシマヤマネコ交通事故で死亡
一〇〇頭を越えています」

ツシマヤマネコ交通事故発生件数ランキング

1位	15件	(平成24年度)
2位	12件	(平成27年度)
3位	8件	(平成14、18、28年度)

みなさまからいただいた情報をもとに看板、のぼり旗の設置や、交通安全キャンペーンを実施し、交通事故が少しでも減るように活動しています。

今年度、ヤマネコの事故の通報があった時間帯は、朝七時頃もしくは夕方六時〜七時頃が多くみられています。通勤途中、特に看板やのぼり旗を見かけたら、「道路にヤマネコが飛び出しているかも…」と意識して運転してみてくださいねー

引き続き、安全運転にご協力をお願いいたします。



看板↑

見かけたら、スピード落として!!



交通安全キャンペーンの様子



のぼり旗



ヤマネコ交通事故(蜂町橋)



目撃情報をいただいた方に配布しているシール↑

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分(入館は16時まで)
 【休館日】月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館、翌日火曜日に休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
 【3月】19、26日 【4月】2、9、16、23日 【5月】7、8、14、21、28日 【6月】7、11日は休館日です。

やまねこ News

増えている！ヤマネコの錯誤捕獲

昨年、冬、睡町三根、上原町の舟志ノ内鳥獣保護区内にて、「くへりわな」にヤマネコがかかる事故が二件発生しました。舟志ノ内は環境省のシカ捕獲事業でのヤマネコの錯誤捕獲となつてしまい、再発防止策を検討しています。

保護された一頭は順調に回復し、二月十七日に無事野生復帰しました。もう一頭は、未だ治療中です。

「くへりわな」にヤマネコがかかった事例は今回で四件目の通報となりました。これまでは猟師さんの小まめな見回りのおかげでこの事例も致命傷にはならず済んでいます。一方で、昨年発見されたヤマネコは「くへりわな」に長期間かかっていた可能性があり、右後肢が腐り落ち骨がむき出しの状態に保護され、死亡しました。

もし、「くへりわな」は「わな」にヤマネコがかかった場合、わなを適切に使用し、故意にヤマネコを捕まえたものでなければ罪には問われません。ヤマネコが、わなにかかった場合は早急にヤマネコセンターまでご連絡をお願いします。



家の野生復帰の様子



家(ごう)と名前

治療の様子

※ヤマネコ以外の野生鳥獣(テン、イタチ)がわなにかかった場合でも、お電話いただければ各担当機関へお繋ぎします。
ヤマネコセンター 0920-84-5577

ナナミの近況

ナナミが野生順化ステーションに来て半年が経ちました。上対馬町豊で衰弱していたところを保護されたナナミは右眼が不自由で、一部の歯が欠けています。そのため、餌を噛み切れずに吐き出してしまつたこともありましたが、飼育員が餌のやり方を工夫したところ、ナナミはしっかり噛んで餌を食べられるようになりました。

今後、自然に近い野生順化ケージでの飼育に移行する予定です。



ナナミ

小浦でヤマネコが撮影されました！

一昨年十二月と昨年一月に蔵原町小浦でヤマネコの糞が回収されたことを受け、自動撮影カメラを設置したところ、昨年十一月〜一月にヤマネコの姿を撮影することができました。小浦ダムへ曲がる分岐付近の国道上を横切るヤマネコらしきネコの目撃情報が同時期にあり、今後の事故が心配されます。下島では依然としてヤマネコの生息数は少ないと思われませんが、続々と生息情報が集まっています。対馬全域で人にもヤマネコにも優しい運転をお願いします。



小浦で撮影されたヤマネコ

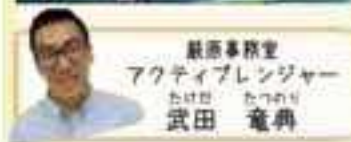
下島だより⑩ 新鮮野菜がてんこ盛り！内山盆地収穫祭「軽トラ市」！



軽トラ市の様子
(主催：内山盆地の里やまねこ会)

11月19日に鮎もどし自然公園にて内山盆地収穫祭「軽トラ市」を開催しました。当日は朝一番から賑わい、600名以上の来場者がありました。会場には内山・瀬・豆蔵地区で採れた新鮮な野菜がズラッと並び、イノシシ・シカを使ったレザークラフト体験、対馬産小麦を使った天然酵母パンの販売や、山芋が入ったいりやきの販売など盛りだくさんの内容となりました。

また、対馬乗馬や竹細工遊びなどの体験ブースもあり、子どもから大人まで、たくさんの人を楽しんでいただけました♪さらに、普段は未公開の野生順化ステーションの特別見学ツアーも大盛況でした！次回もぜひお越しくださいませ☆



農務事務室
アクティブレンジャー
たけはら たつゆり
武田 竜典



内山盆地の里やまねこ会について
もっと知りたい方はこちら♪
HP → <http://yananeko.html.edonain.jp/index.html>
Facebookでも情報発信中♪

ヤマネコ
販売部



第27回 ヤマネコ・クイズ！

今までヤマネコセンターで保護したヤマネコはどんな、わなで錯誤捕獲されているのでしょうか？

答えはウラをみてね！⇒

対馬の環 News



生き物キャンドル作り



十二月十六日に開催した「生き物キャンドル作り」では、ツシマウラボシシジミ、アカネズミやアゲハモドキという蛾、イヌタテという植物など、生き物のことをよく観察してキャンドルを作ってくれました！

飼育体験イベント

一月二十日には飼育体験イベントを開催し、小学生一名が参加してくれました。今回は保護されたヤマネコに治療や検査をする施設に入り、レントゲン画像を見たり、マイクロチップを探したりしました。この日は福馬の体調も良かったため、トングを使って餌やりの体験もできました。また、ヤマネコに与えているハツカネズミのお世話を通じて、命を頂くことの意味を感じ取ってもらえたようでした。



ネズミのお世話



マイクロチップ探し

対馬学フォーラム・ASCM

十二月十日に行われた「対馬学フォーラム」では、対馬に関する文化や自然環境などあらゆる分野の発表が行われました。発表者は島内外から参加されており、沢山の人が対馬の魅力や課題、将来について一生懸命考えているのだと感じました。

また、対馬学フォーラムの後には「第一回ASCM（アジア保全医学会）アジアのヤマネコ」保全ワークショップが開催され、アジア各国のヤマネコ関係者が、自国のヤマネコの保全活動の紹介や研究発表を行いました。ヤマネコに関連する研究では、交通事故死体の解剖結果からの考察や、飼育個体の発情行動の研究、個体識別が可能な新たな調査機材の開発などの発表がありました。ヤマネコセンターや野生順化ステーションなどを案内する中でも、各国の関係者と同様意思交換ができ、ヤマネコの保全活動のヒントを得られ、これからのヤマネコ保全を考える良い機会となりました。



小学生たちの発表の様子

（この欄の本文は上記の右側の文章と重複しています）



各国の参加者



発表の様子

退職のご挨拶

平成26年4月から4年間お仕事をさせてもらい、多くの方々と繋がり、経験できたことは全てツシマヤマネコがくれたご縁です。ここで得た経験全てが、何よりの宝です。今までお世話になった地域の方々、職場の皆様から心から感謝します。本当にありがとうございました。さらに力を付けて、いつか対馬に恩返ししたいなと思います。

専門的な知識がなく、初めてのことが多かった3年間…あっという間だったように思います。大変なこともありましたが、たくさんの方々に支えられながら地元対馬にはたくさんの貴重な生き物がいることを知り、普及啓発の仕事を通して多くのことを学ばせて頂きました。3年間ありがとうございました。

対馬野生生物保護センター
アクティブレンジャー
かばうら しずか
藤浦 志寿香



対馬野生生物保護センター
普及啓発担当
こみや さおり



センター用語

錯認捕獲…捕獲対象以外の動物を誤って捕まえてしまうこと
マイクロチップ…識別するために体に埋め込むことのできるチップのこと（保護したヤマネコに入れている）

対馬にいる生き物をご紹介します！

対馬固有種

第4回 ツシマナメクジ 学名: *Meghimatium sp.*
軟体動物門 腹足綱 マイマイ目 ナメクジ科

ナメクジって、実は「貝」の仲間なんです！ご存じでしたか？
対馬にはヤマナメクジ（日本型、10cm 近くあるものも）、ナメクジ（共通型、全国で見られる）、ツシマナメクジの3種がいます。

ツシマナメクジは鮮やかなオレンジ色で、まるで明太子やウニの身のように。1970年に国立科学博物館の調査で新種として発見されました。対馬固有種とはいえ、腐った木などによくおり、対馬では珍しくはないので、見つけても感動が少ないかもしれませんね…。

しかし！ツシマナメクジの生態研究は進んでおらず謎が多いです。対馬でしか出会えない「プレミアムで謎めいたナメクジ」。

未来の対馬でも普通に見られることを願っております。



撮影地：上県町 佐護 御岳

今回の対馬のお中人この人は—

No.16 対馬自然写真研究所 ^{かわぐち}川口 ^{まこと}誠 さん



写真提供：川口 誠

毎年カレンダーを作っていますので、よろしくお願ひします。

1. どのようなお仕事をされていますか？

対馬の自然や生き物の撮影をしています。それ以外では、野生動物の調査や希少種の保護活動を行っています。

2. 自然写真家になろうと思ったきっかけは？

世界でも対馬にしかない貴重な生き物たちを島内外の色々な方に広めていきたい！と思い、写真を撮り始めました。対馬に来て、すぐに出会うことができない生き物もいるので写真は「ココにいた」という証拠にもなるし、写真を見て対馬の生き物に興味を持ってもらえたらいいなと思っています。

3. 撮影で、気をつけられていることは？

生き物や自然が相手なので、なるべく「生き物に影響のないように」「領域を侵さないように」気をつけています。生き物に配慮することはもちろんですが、私有地も多いので撮影許可を取ったり、地域の方にも迷惑をかけないように心がけて撮影しています。

4. 今後の目標を教えてください。

仕事として、自然に携わってくれる若い人達が増えてくれたらいいですね。写真家としては、今後もヤマネコをはじめとする対馬の生き物をたくさんの方に知ってもらいたいと思っていますので、大都市で個展を開くこと、そして写真集を出すことが大きな目標です。

川口さんの2018年カレンダー表紙



写真提供：川口 誠

対馬の大自然の中で強く生きる、ヤマネコの素敵な写真でいっぱいです!! ヤマネコセンターでも販売中!!

川口さん、ありがとうございました。

編集後記

大自然の中、野生動物たちはどのように過ごしているのでしょうか。寒さの厳しい対馬の冬を越え、強く生きる姿はカッコいいですね。



『大地トンネル開通式』平成二十二年度から整備が進められていた上県町佐須原〜佐藤間の国道三八二号〜大地バイパスの開通式が昨年十二月八日に開催され、つばさちゃんも参加してきました！平成二十九年十月にトンネルができた付近の大地集落内でもヤマネコの事故が発生しました。今年には人やヤマネコの事故が少しでも減りますように！

今日の一枚

第27回 ヤマネコ・クイズの答え！

とらばさみや、くくりわな、はこわなです。

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>



2018 夏号
No. 80



「はこわな」にかかったヤマネコ

平成29年度、 わなにかかって保護されたケースが 過去最多！

昨年度は、ヤマネコの保護がとても多い一年でした。保護理由で最も多かったのは、小動物などを捕獲するために設置された「※はこわな」に入ってしまった事例です（※「はこわな」での捕獲は許可が必要です）。昨年度、「はこわな」に入り保護されたヤマネコは、四頭いました。迅速な連絡のおかげで、どの子も元気で、その日のうちに野生に帰すことができました。

昨年度に保護された「夢」と「やいち」は、鹿などを捕まえるための「くくりわな」にかかってしまったヤマネコでした。足に「くくりわな」がかかった状態が長く続くと、歩けなくなることもあります。今回は「頭」とも、発見が早かったおかげで、次第に回復し、元通り走れるようになり、野生に帰っていききました。

これらの例からもわかるように、発見した方の連絡があつて初めて、ヤマネコの命を救うことができ、野生に帰すことができます。昨年度「わな」にかかって保護された件数が過去最多となったのは、それだけヤマネコのことをすくべに連絡して下さる方が増えたことのアラわれでもあります。「連絡下さったみなさま、多くのヤマネコの命を救って下さり、ありがとうございました。今後とも、ご協力をお願いいたします。」



「やいち」を野生へ帰した時の様子

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝祭日の場合は開館、翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）
【6月】18、25日 【7月】2、9、17、23、30日 【8月】6、13、20、27日 【9月】3、10、18日は休館日です。

対馬の環 News



内山の山桜でバターナイフづくり



三月四日、講師として國分英俊さん、小田忠彦さんをお呼びして、対馬市交流センターにて工作イベントを開催しました。対馬の春に見られる草木についてのお話の後、山桜などの木材を削って、世界に一本だけのバターナイフを作りました。

イベントにご協力いただいた國分英俊さんは、

四月二十五日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

福馬誕生日イベント

四月三日はヤマネコセンターで飼育している「福馬」の誕生日でした。ヤマネコセンターでは、来館された方々に福馬の似顔絵を描いてお祝いしてもらおうイベントを開催し、色んな顔の福馬を描いていただきました。今年で十四歳になった福馬に是非会いに来て下さい。



これからも応援よろしくね♪

14歳になった福馬

千俵蒔山草原再生プロジェクト



三月四日、上県町佐護にある千俵蒔山で野焼きが行われ、今年もお手伝いをしてきました。野焼きで真っ黒に焼けた大地からは、少しずつ草がはえてきました。一面の草原を見るのが楽しみです。

情報

夏には飼育体験イベント・ロボット作り、秋にはとらやま祭りなど、今年度も色々なイベントを企画しています！また、各地のイベントにもつばきちゃんと一緒に参加できたらいいなと思っています。

イベントの詳細情報は、チラシやホームページにて発信していきますので、ぜひチェックしてみてくださいね☆



【普及啓発担当】

堺、小宮、武田

新職員のご挨拶

前回のとらやまの森で退職の挨拶をしていましたが、今年度も働かせていただいております！今後も皆様にお会いできることを楽しみにしております♪1年間よろしくお願い致します。

対馬野生生物保護センター
事務補佐員

小宮 さおり



対馬野生生物保護センター
アクティブレジャー

今泉 潤



対馬動物医療センター
対馬野生生物保護センター
動物看護師・飼育担当

杉浦 由佳



センター用語

野焼き…草原を維持するために、計画的に野山の枯れ草を焼き払うこと。

草原に住む生物の多様性が広がることで、ツシマヤマネコの生息環境も改善に繋がります。

やまねこ News

再び交通事故に...

三月十九日、上県町榎滝で交通事故にあったヤマネコは、かつて保護され、「セナ」と名付けられた個体だと判明しました。セナは、平成二十五年一月、住民の方からの連絡を受け、上対馬町比田勝にて保護されました。獣医の治療を受け、元気になったセナは、その年の七月に森へ帰って行きました。その後、首輪型の電波発信器による追跡調査を行ったところ、上対馬町茂木に移動し、翌年から上県町榎滝で無事に生存していることが確認できました。残念ながら二度目の交通事故に遭ってしまいました。最初の保護から奇跡的に生還できたのは、弱っているセナを見つけた方がすぐにご連絡して下さいました。弱ったヤマネコを見かけた場合は、ヤマネコセンターまでお早めに情報提供のご協力をお願いします。



保護中のセナ



追跡調査中

動物園で子ネコ誕生



お母さん(妃)と赤ちゃんの様子

五月四日、福岡市動物園でヤマネコの妃(き)と、赤ちゃん(こ)の子どもが二頭誕生しました！

妃は上県町瀬田で子ネコの時に保護され、Oちゃんは厳原町小浦で保護された、対馬生まれのヤマネコのヘアです。

妃はまだ三歳で、若いお母さんですが、昨年度にも出産・子育てをしていたので、今回も二度目です。生まれた子ネコたちは、すくすくと元気に成長しています。今後、子ネコたちの成長を温かく見守って下さー！

異動のご挨拶



前首席保護官
ささき ひろあき
佐藤 大樹

対馬では平成28年4月から2年間勤務し、平成30年4月に環境省自然環境局野生生物課に異動になりました。対馬で得た環境保全の最前線の現場での経験を活かして、引き続き環境保全の仕事に取り組みたいと思います。



上席保護官
やまもと まさとし
山本 以智人

前任地の沖縄では、希少種の保護や世界自然遺産登録の調整を行ってきました。人と自然がどちらも豊かな対馬を目指して頑張ります！学生時代は魚の調査をしていました。魚好きな方は声をかけていただけると嬉しいです！

ありがとうございました！



前厳原事務室保護官
たかはし たかし
高辻 陽介

あっという間の3年間でした。公私ともにたくさんの方々にお世話になりました。誠にありがとうございました。ツシマヤマネコ野生順化ステーションでの取り組みに引き続き注目いただければと思います。ツマアカスズメバチとの戦いもまだしばらく続きそうです。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。みなさまいつまでもお元気で。



厳原事務室保護官
なごの しゅうた
永野 雄大

4月から環境省の自然保護官として厳原事務室に勤務しています。ヤマネコはもちろん、地域のために何が出来るか日々悩みながら精一杯頑張りたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

よろしくお願いします！

第28回 ヤマネコ・クイズ!

表紙左下の写真「やいち」は、前足の毛がありません。それはなぜでしょう？

答えはウラをみてね！⇒

第4回

対馬にいる生き物をご紹介します!

カエルアンコウ

アンコウ目 カエルアンコウ科

属名: Antennarius



見に行かなければ出会えないちょっと珍しい魚をご紹介します!
日本では一般的には太平洋側の比較的温暖な海に生息していますが、対馬でも見る事が出来ます。見た目から分かるようにあまり俊敏に泳ぎ回らず、魚なのにヒレを使って海底を歩くように動きます。

実は海に入らなくても見る事が出来ます!
これからの季節、夜の防波堤にはオスがメスを求めて海底から上がってきて乱舞する姿が見られるようになります。夜間に観察する場合は、足場が良く、ライトが点いている防波堤がおススメです!



色々な色の種類があります。

今回の対馬のあの人この人は…

No. 17

内山盆地の里やまねこ会

「ツシマヤマネコ脱臭炭」の製作・販売をはじめ、
秋には内山盆地収穫祭「軽トラ市」やイベントを開催しています。



1. 内山盆地の魅力は何ですか??

内山盆地では、人と自然が共生する「里の暮らし」を豊かにする、炭焼きや林業、農業、畜産などを盛んにしています!

内山盆地を通ると炭焼きの香りを感じられ、道端にある無人販売所では旬の野菜が見られ、身近に自然をたくさん感じることができます。

2. 「ツシマヤマネコ脱臭炭」はどのような商品ですか??

内山盆地で採れたカシやツバキから作った黒炭を使い、ラッピングなど全ての工程を1つ1つ会員の手で仕上げています。「ツシマヤマネコ脱臭炭」は、冷蔵庫や押入れ、車、靴の中に入れると脱臭・除湿してくれます。



2~3ヶ月で効果がなくなってきても、天日干しをすれば、復活します。ぜひ使ってみませんか!



やまねこ会の皆さん



内山盆地の里やまねこ会について、
もっと知りたい方はこちらをチェック♪
HP → <http://yamaneko.html.xdonain.jp/index.html>
Facebookでも情報発信中♪

編集後記

もうすぐ夏休み、ワクワクしますね。植物や昆虫など、いろんな生き物を探しにお出かけしてみませんか?



『見かけたら…』
今年度もヤマネコセンターでは積極的にヤマネコの目撃情報を集めています。みなさまから寄せられた情報を元に目撃情報が多い地域でパトロールを実施し、まづパトロールしているこの車を見かけた場所では、特に安全運転にご協力をお願いします。

今日の一枚

★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典や「とらやまの森」であることを明記してください。

第28回 ヤマネコ・クイズの答え!

「やいち」は前足に「くくりわな」がかかって怪我をしたヤマネコでした。治療しやすいように毛を刈っていたので、放獣した時には毛が生えていませんでした。